

**大分市国際化推進計画策定に係る
市 民 意 識 調 査**

個人アンケート

1 ご自身のことについておたずねします。

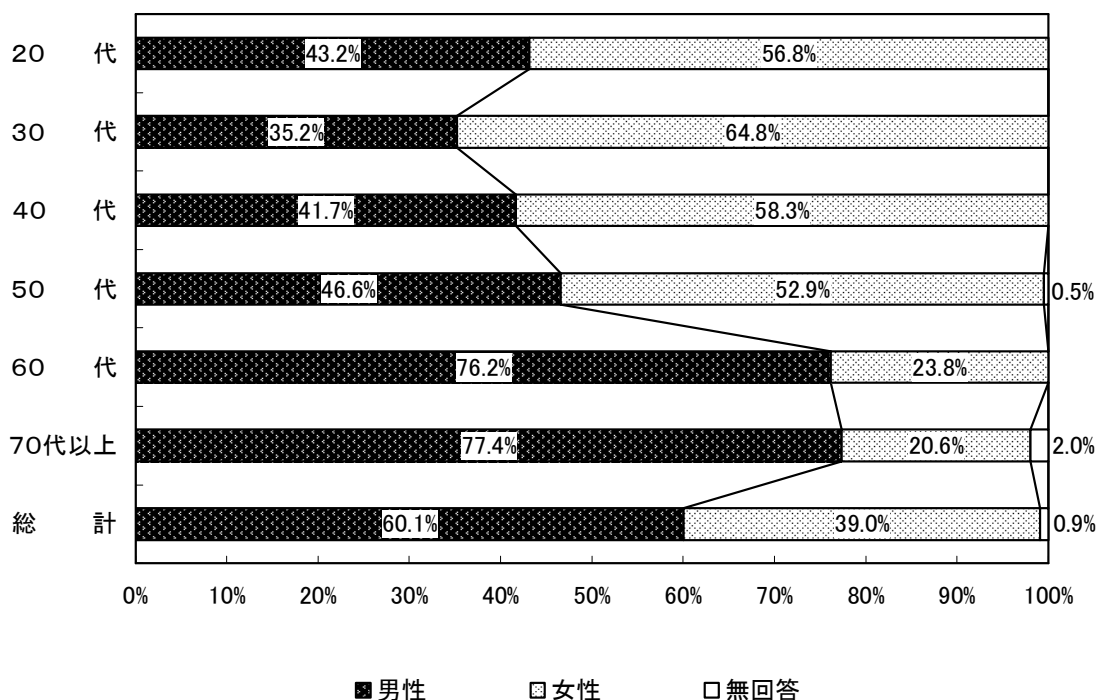
問1・問2 回答者の性別、年齢

市民アンケート回答者の性別は、男性が60.1%、女性39.0%となっている。年代別で見ると、回答者数の最も多い60代(395人)、つづいて多い70代以上(252人)では、約8割が男性となっている。また、50代以下の回答者では女性の方が多くなっており、女性の割合は、50代(206人)では52.9%、40代(163人)で58.3%、30代(125人)で64.8%、20代(95人)で56.8%となっている。

表1-1 回答者の性別、年齢

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不明	総計
男 性	41 43.2%	44 35.2%	68 41.7%	96 46.6%	301 76.2%	195 77.4%	2 28.6%	747 60.1%
女 性	54 56.8%	81 64.8%	95 58.3%	109 52.9%	94 23.8%	52 20.6%	0 0.0%	485 39.0%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	5 2.0%	5 71.4%	11 0.9%
総 計	95 100.0%	125 100.0%	163 100.0%	206 100.0%	395 100.0%	252 100.0%	7 100.0%	1,243 100.0%

図1-1 回答者の性別、年齢



問3 市内居住年数

市民アンケート回答者の市内居住年数は、男性、女性とも「21年以上」という回答が7割以上であったが、男性を年代別にみると、20代は「21年以上」が46.3%で最も多く、つづいて「5年以内」が26.8%、30代は「21年以上」「5年以内」「11～20年」がそれぞれ約3割、40代では「21年以上」45.6%、「11～20年」が30.9%、「5年以内」「6～10年」がそれぞれ約1割、50代、60代、70代以上では「21年以上」が約8割から9割、「11～20年」が約1割であった。

女性を年代別にみると、20代は男性20代と同じく「21年以上」が51.9%で最も多く、つづいて「5年以内」が29.6%、30代は「21年以上」が46.9%、「5年以内」が24.7%、40代では「21年以上」が56.8%、「11～20年」が25.3%、50代、60代では、「21年以上」が約9割、「11～20年」が約1割となっており、70代以上では「21年以上」が98.1%であった。

表1-2 市内居住年数

【男性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)
5年以内	11 26.8%	12 27.3%	8 11.8%	6 6.3%	7 2.3%	0 0.0%	44 5.9%
6～10年	4 9.8%	7 15.9%	8 11.8%	4 4.2%	13 4.3%	3 1.5%	39 5.2%
11～20年	7 17.1%	11 25.0%	21 30.9%	12 12.5%	19 6.3%	14 7.2%	84 11.2%
21年以上	19 46.3%	14 31.8%	31 45.6%	74 77.1%	260 86.4%	174 89.2%	574 76.8%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	4 2.1%	6 0.8%
総計	41 100.0%	44 100.0%	68 100.0%	96 100.0%	301 100.0%	195 100.0%	747 100.0%

表1-3 市内居住年数

【女性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
5年以内	16 29.6%	20 24.7%	6 6.3%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	43 8.9%
6～10年	3 5.6%	12 14.8%	9 9.5%	2 1.8%	1 1.1%	1 1.9%	28 5.8%
11～20年	5 9.3%	9 11.1%	24 25.3%	12 11.0%	9 9.6%	0 0.0%	59 12.2%
21年以上	28 51.9%	38 46.9%	54 56.8%	94 86.2%	84 89.4%	51 98.1%	349 72.0%
無回答	2 3.7%	2 2.5%	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.2%
総計	54 100.0%	81 100.0%	95 100.0%	109 100.0%	94 100.0%	52 100.0%	485 100.0%

図 1 - 2 市内居住年数

《男性》

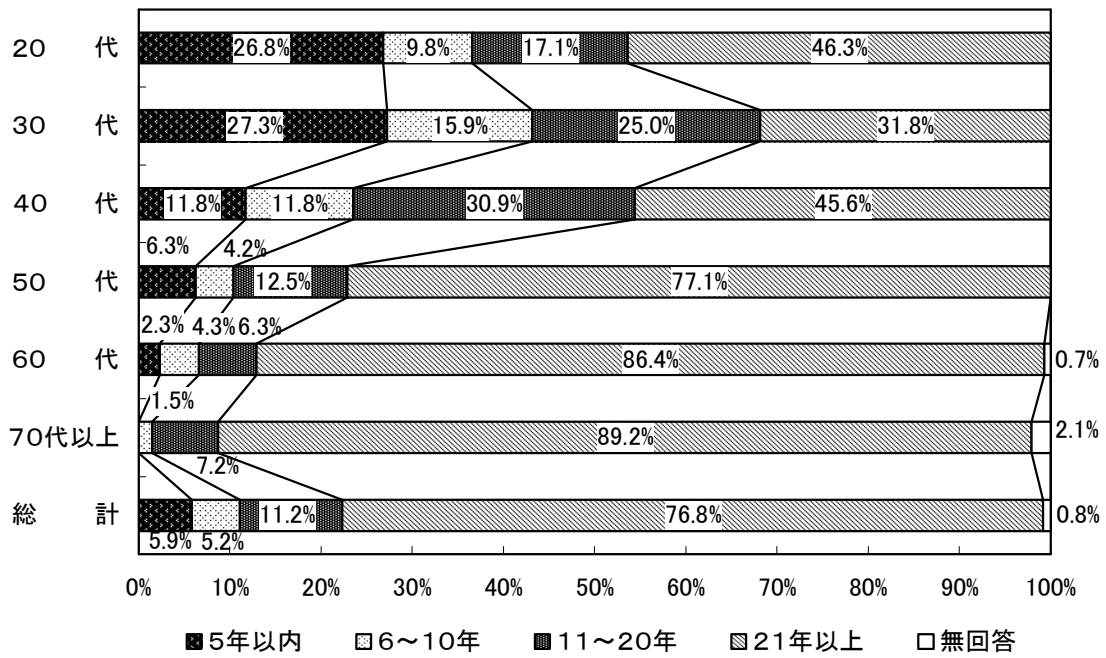
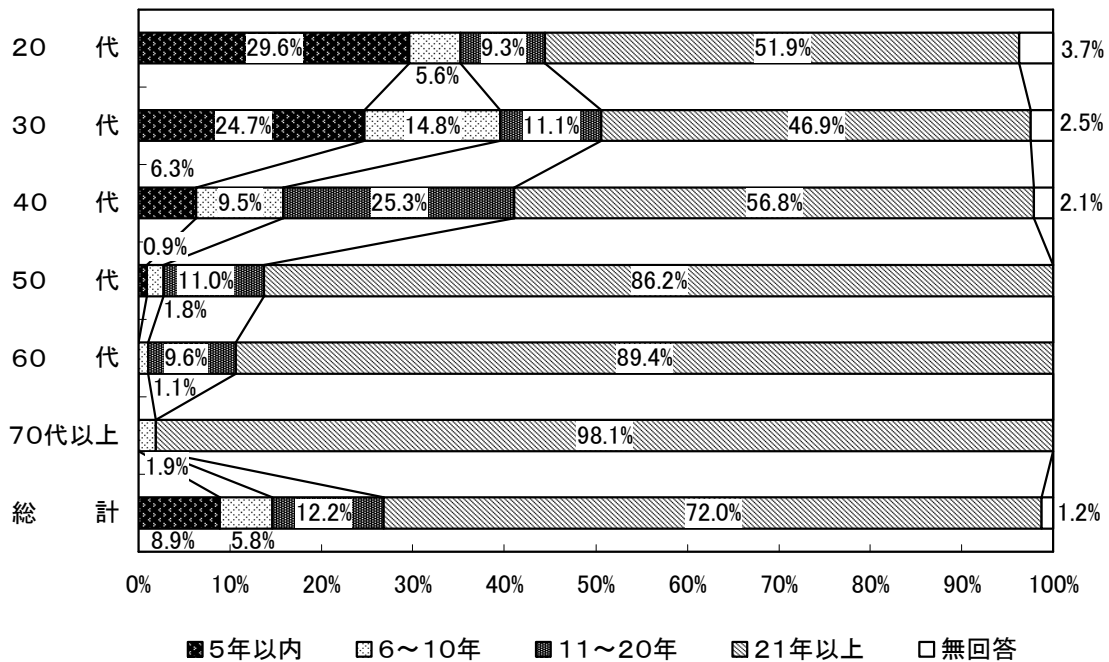


図 1 - 3 市内居住年数

《女性》



2 国際交流の実態や意識についておたずねします。

問4 海外旅行経験、または海外生活経験について

「ある」という回答は男性で64.9%となり、女性の56.3%を8.6%上回っていた。

性別でみてみると、男性で「ある」という回答が最も少ない年代が20代となっており、41.5%となっている。また、最も多いのは40代で、77.9%であった。その他の年代では、約6割から7割が「ある」と答えている。

女性では、若い世代ほど「ある」と答えた人は多くなる傾向がみられ、20代で61.1%、30代で74.1%となっている。40代、50代では「ある」という回答が「ない」をやや上回り、その反対に、60代、70代以上では「ない」が「ある」という回答をやや上回っている。

表2-1 海外旅行経験、または海外生活経験について

【男性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)
あ る	17 41.5%	29 65.9%	53 77.9%	66 68.8%	196 65.1%	123 63.1%	485 64.9%
な い	24 58.5%	15 34.1%	15 22.1%	30 31.3%	105 34.9%	72 36.9%	262 35.1%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	41 100.0%	44 100.0%	68 100.0%	96 100.0%	301 100.0%	195 100.0%	747 100.0%

表2-2 海外旅行経験、または海外生活経験について

【女性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
あ る	33 61.1%	60 74.1%	52 54.7%	57 52.3%	46 48.9%	25 48.1%	273 56.3%
な い	21 38.9%	21 25.9%	43 45.3%	52 47.7%	48 51.1%	27 51.9%	212 43.7%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	54 100.0%	81 100.0%	95 100.0%	109 100.0%	94 100.0%	52 100.0%	485 100.0%

図 2 - 1 海外旅行経験、または海外生活経験について

《男性》

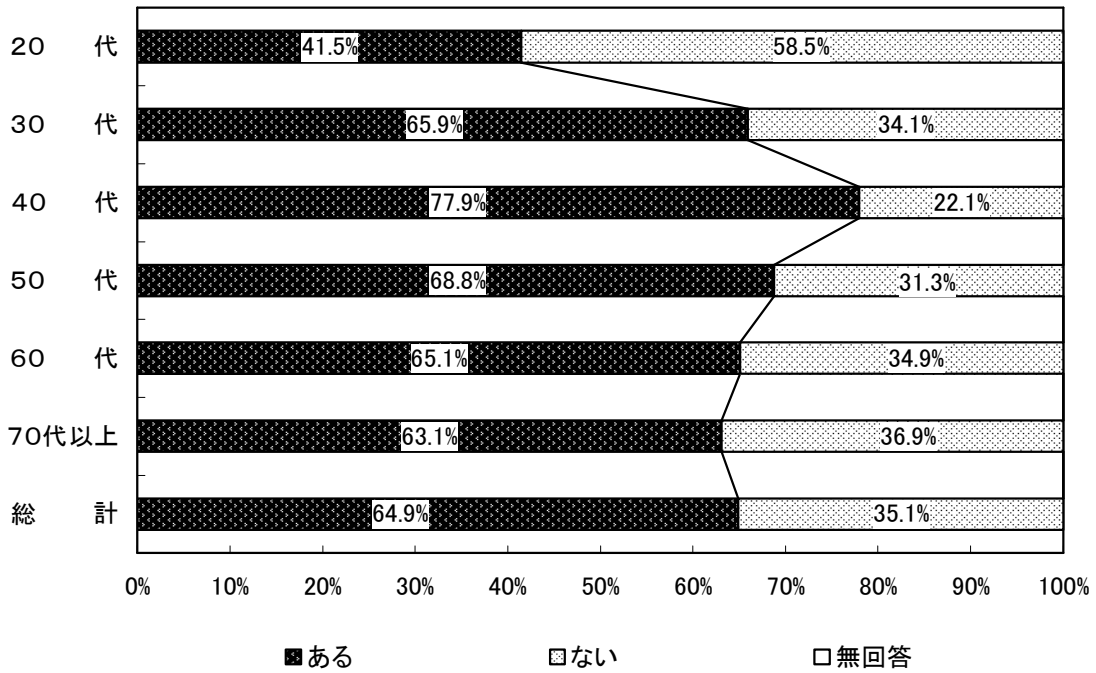
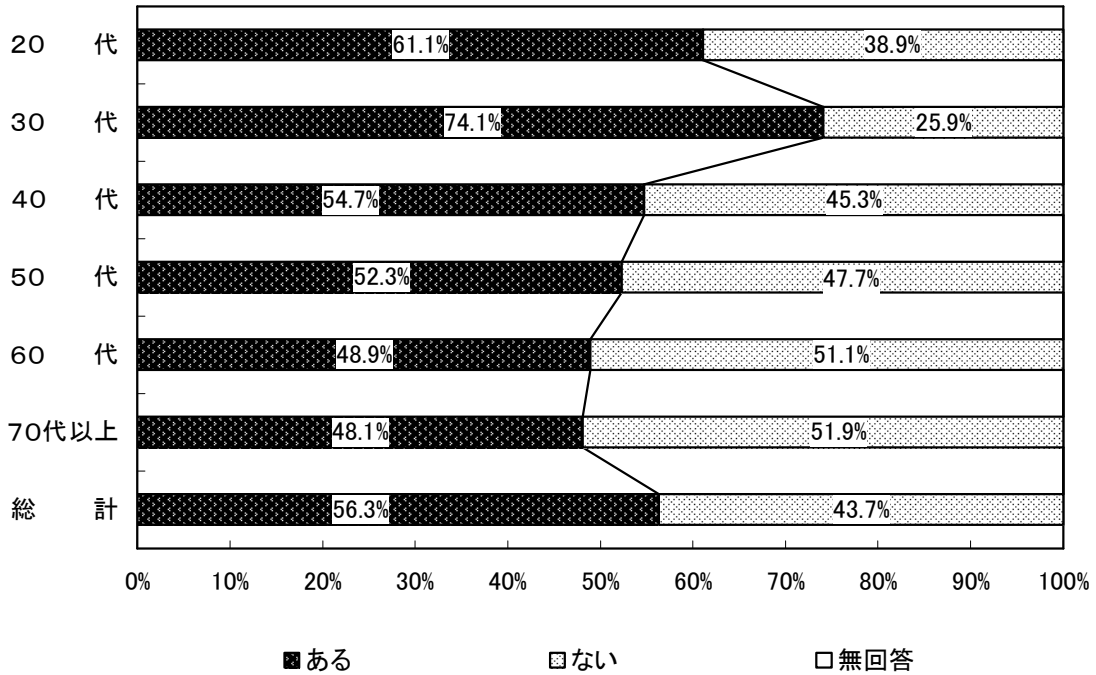


図 2 - 2 海外旅行経験、または海外生活経験について

《女性》



問5 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の経験について

「ある」という回答は、男女とも約3人に1人という結果となっている。年代別では、若い年代ほど、「ある」という回答が多くなる傾向がみられ、男性では、20代が46.3%、30代、40代が約4割、50代、60代、70代以上では約3割が「ある」と答えている。女性は30代が44.4%と最も多く、20代が42.6%、40代、50代で約37%、60代、70代以上では約25%が「ある」という回答であった。

表2-3 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の経験について

【男性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)
あ る	19 46.3%	18 40.9%	28 41.2%	32 33.3%	93 30.9%	58 29.7%	248 33.2%
な い	22 53.7%	26 59.1%	40 58.8%	64 66.7%	208 69.1%	137 70.3%	499 66.8%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	41 100.0%	44 100.0%	68 100.0%	96 100.0%	301 100.0%	195 100.0%	747 100.0%

表2-4 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の経験について

【女性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
あ る	23 42.6%	36 44.4%	36 37.9%	40 36.7%	24 25.5%	12 23.1%	171 35.3%
な い	31 57.4%	45 55.6%	59 62.1%	69 63.3%	70 74.5%	40 76.9%	314 64.7%
無 回 答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総 計	54 100.0%	81 100.0%	95 100.0%	109 100.0%	94 100.0%	52 100.0%	485 100.0%

図 2 - 3 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の経験について

《男性》

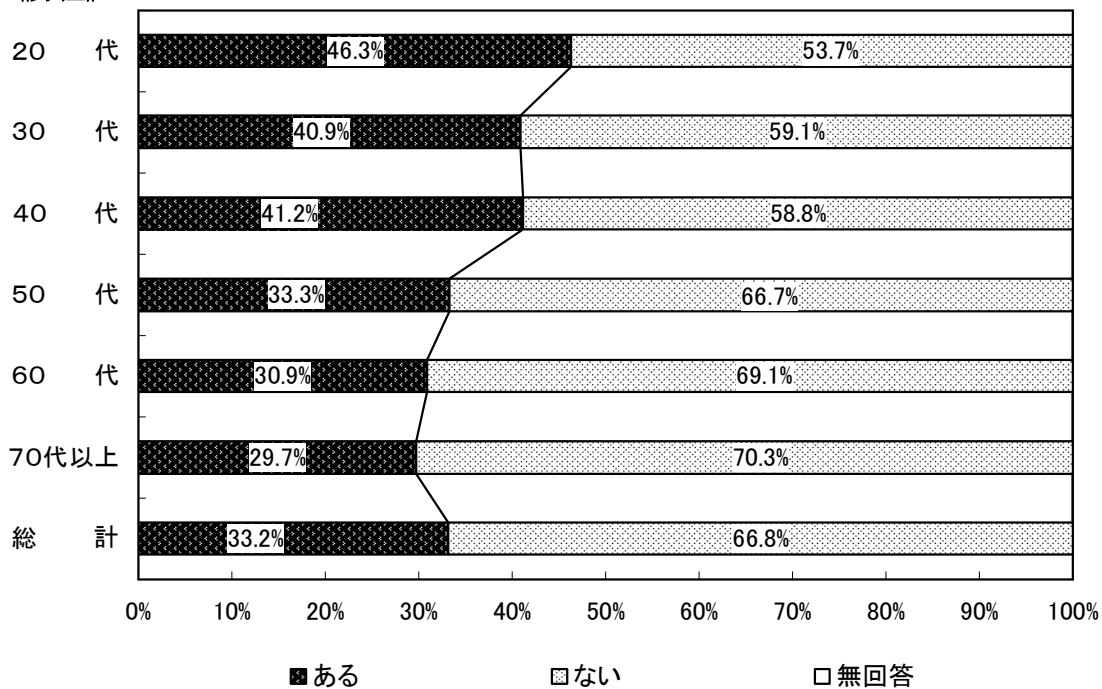
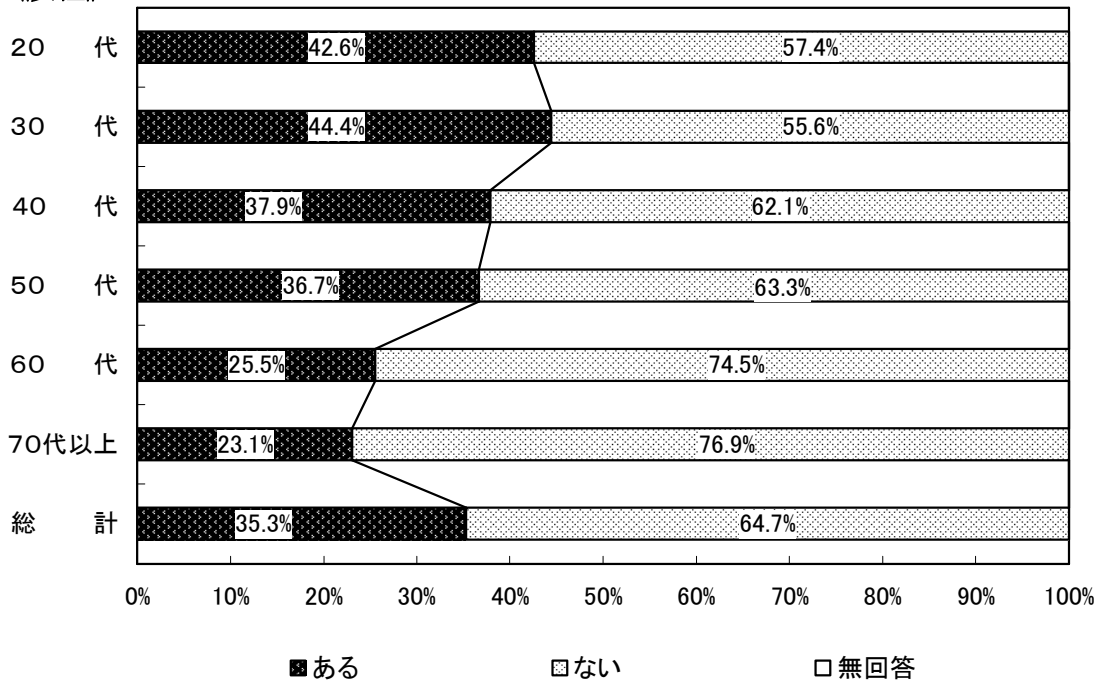


図 2 - 4 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の経験について

《女性》



問6 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の参加意向

「参加したい」という回答は、男性 36.7%、女性 40.2%と女性の方がやや多くなっている。最も多かった回答は、「どちらでもない」で男性 49.8%、女性 47.6%であった。「参加したくない」は男女とも 12%台で最も少ない回答であった。

男性で 20 代から 50 代、女性で 20 代から 40 代で約 4 割から 5 割の人が、「参加したい」と答えており、若い年代で参加意向が強い傾向となっている。

また、各世代の人が同数回答した数字に直した補正総計でみると、男性も「参加したい」と答えた人が 4 割を超えており、男女ともに約 4 割の人が参加意向を持っていることがわかる。

表 2-5 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の参加意向

【男性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計
参加したい	19 46.3%	22 50.0%	28 41.2%	43 44.8%	96 31.9%	65 33.3%	274 36.7%	248 41.3%
どちらでもない	16 39.0%	15 34.1%	36 52.9%	45 46.9%	165 54.8%	94 48.2%	372 49.8%	276 46.0%
参加したくない	5 12.2%	7 15.9%	4 5.9%	7 7.3%	39 13.0%	32 16.4%	94 12.6%	71 11.8%
無回答	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	1 0.3%	4 2.1%	7 0.9%	6 1.0%
総計	41 100.0%	44 100.0%	68 100.0%	96 100.0%	301 100.0%	195 100.0%	747 100.0%	600 100.0%

※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

表 2-6 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の参加意向

【女性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計
参加したい	22 40.7%	43 53.1%	51 53.7%	40 36.7%	28 29.8%	11 21.2%	195 40.2%	235 39.2%
どちらでもない	30 55.6%	32 39.5%	37 38.9%	57 52.3%	52 55.3%	23 44.2%	231 47.6%	286 47.6%
参加したくない	2 3.7%	6 7.4%	7 7.4%	11 10.1%	14 14.9%	18 34.6%	58 12.0%	78 13.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%
総計	54 100.0%	81 100.0%	95 100.0%	109 100.0%	94 100.0%	52 100.0%	485 100.0%	600 100.0%

※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 2 - 5 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の参加意向

《男性》

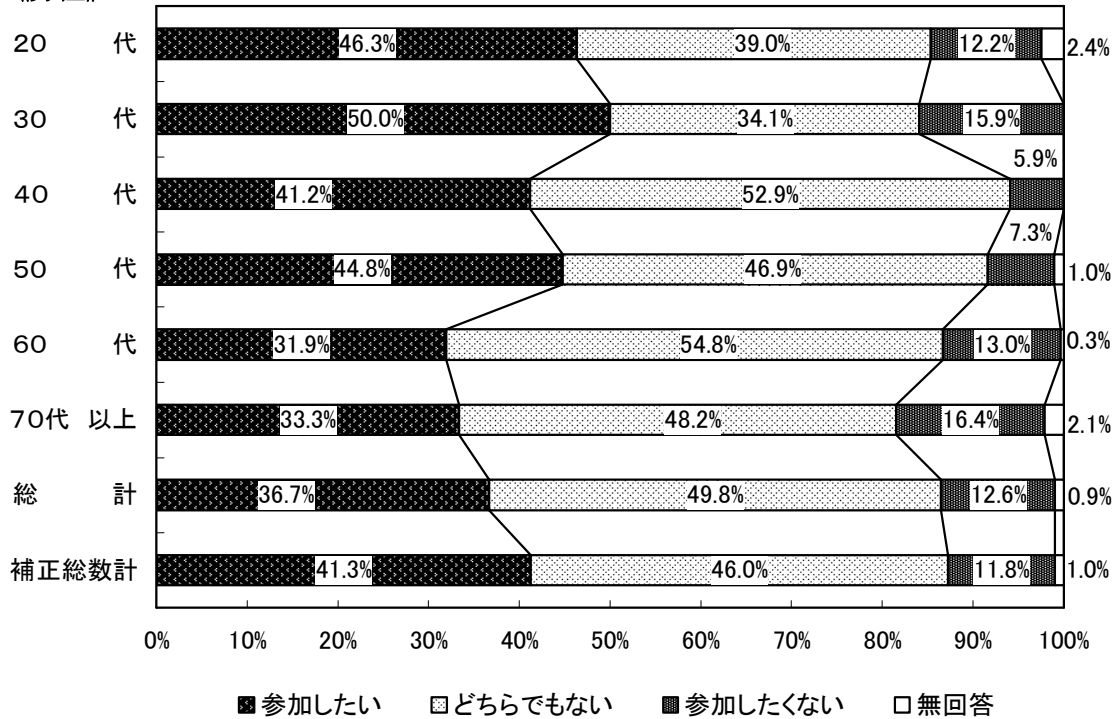
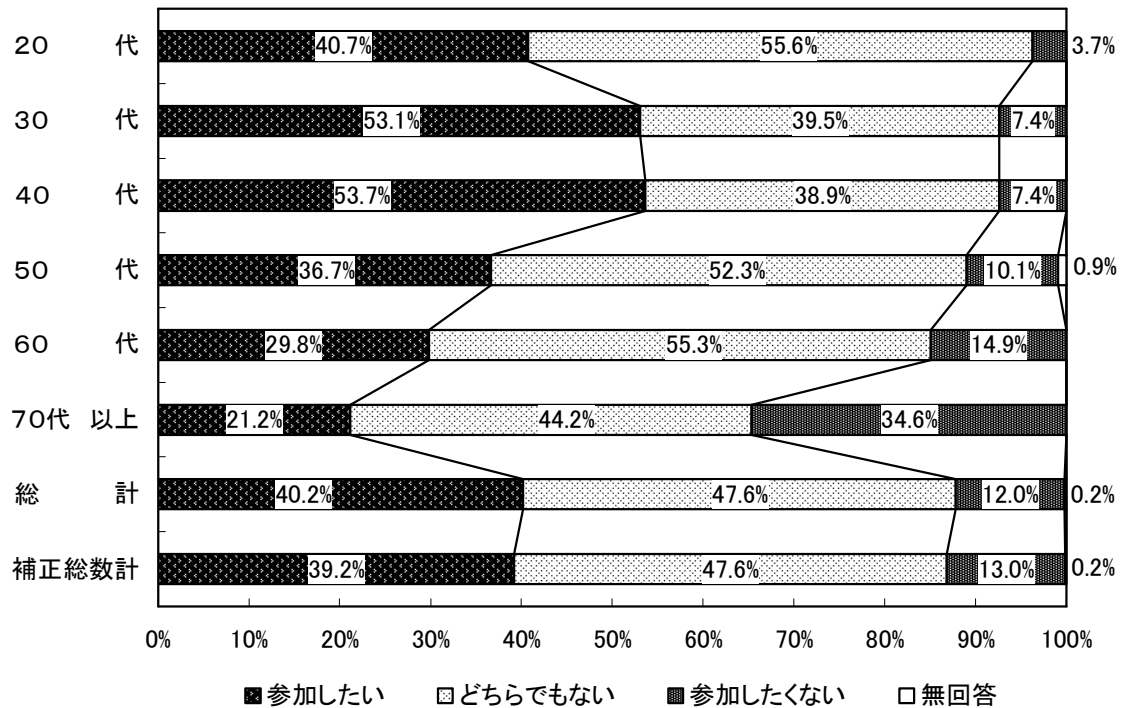


図 2 - 6 外国人との交流や国際交流（国際協力を含む）の参加意向

《女性》



問7 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと（複数回答）

〔問5の「外国人との交流や国際交流の経験がある」の回答者、または
問6の「外国人との交流や国際交流に参加してみたい」の回答者〕

男性の回答で最も多かったのは、「国際親善や相互理解」59.7%、つづいて「同じ人間としての交流」54.9%、「国際的な視野の考え方」48.0%、「世界平和」27.5%、「語学習得」25.9%、「地域づくりや地域の活性化」22.9%、「環境保護」14.4%、「人権」11.5%、「開発途上国の支援」10.1%となっている。

年代で大きく意識の差があらわれた項目は、「語学習得」で20代の53.8%の人があげており、「同じ人間としての交流」と並んで最も多い回答であった。また、「開発途上国の支援」は総計で10.1%であったが、40代で20.5%、20代で3.8%となっており、「人権」は30代17.2%、40代20.5%で他の年代と比べると約2倍の人が答えているという結果であった。

また、各世代の人が同数回答したとして補正した集計結果をみると、最も多いのは、「同じ人間としての交流」となっており、続いて「国際親善や相互理解」（56.5%）が続く。

表2-7 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと（複数回答）

	【男性】						（複数回答）	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計
国際親善や相互理解	13 50.0%	15 51.7%	20 51.3%	30 57.7%	88 63.8%	58 64.4%	224 59.7%	339 56.5%
世界平和	9 34.6%	10 34.5%	14 35.9%	8 15.4%	32 23.2%	30 33.3%	103 27.5%	177 29.5%
同じ人間としての交流	14 53.8%	19 65.5%	23 59.0%	30 57.7%	67 48.6%	53 58.9%	206 54.9%	343 57.2%
人権	3 11.5%	5 17.2%	8 20.5%	4 7.7%	11 8.0%	11 12.2%	43 11.5%	77 12.9%
国際的な視野の考え方	11 42.3%	9 31.0%	20 51.3%	23 44.2%	65 47.1%	51 56.7%	180 48.0%	273 45.4%
地域づくりや地域の活性化	4 15.4%	3 10.3%	11 28.2%	10 19.2%	31 22.5%	27 30.0%	86 22.9%	126 20.9%
開発途上国の支援	1 3.8%	3 10.3%	8 20.5%	6 11.5%	10 7.2%	10 11.1%	38 10.1%	65 10.8%
環境保護	2 7.7%	3 10.3%	3 7.7%	8 15.4%	19 13.8%	19 21.1%	54 14.4%	76 12.7%
語学習得	14 53.8%	10 34.5%	14 35.9%	12 23.1%	29 21.0%	18 20.0%	97 25.9%	188 31.4%
その他	2 7.7%	0 0.0%	4 10.3%	1 1.9%	7 5.1%	2 2.2%	16 4.3%	27 4.5%
回答者数	26	29	39	52	138	90	375	600

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

問7 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと（複数回答）

〔問5の「外国人との交流や国際交流の経験がある」の回答者、または
問6の「外国人との交流や国際交流に参加してみたい」の回答者〕

女性の回答で最も多かったのは、「同じ人間としての交流」63.6%、つづいて「国際親善や相互理解」51.0%、「語学習得」50.2%、「国際的な視野の考え方」44.8%、「世界平和」37.5%、「地域づくりや地域の活性化」14.2%、「人権」11.5%、「開発途上国の支援」「環境保護」がそれぞれ10.7%となっている。

男性の回答と比較すると、「語学習得」が男性で25.9%であったのに対して、女性は50.2%とほぼ2倍の人があげている。

また、女性の回答の中で、年代によって大きく意識の差があらわれた項目は、「地域づくりや地域の活性化」「環境保護」で、それぞれ20代は5.7%と低かったのに対して、「地域づくりや地域の活性化」は60代では34.1%、「環境保護」は60代、70代以上で約2割となっており、20代よりも高く意識されていることがうかがえる。また、「人権」が総計で11.5%の人があげていたのに対して、70代以上で回答した人はいなかった。

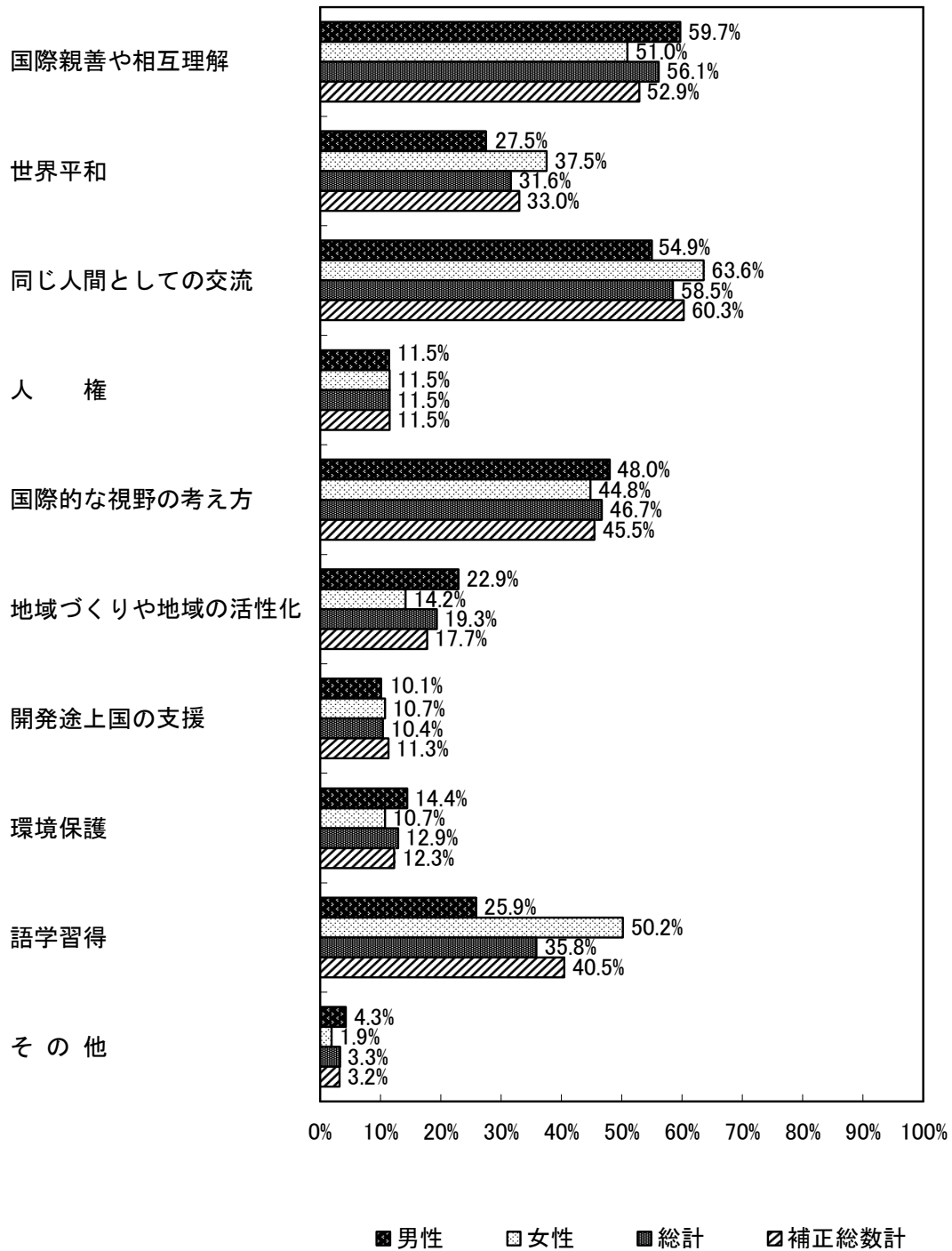
各世代が同数回答をしたと仮定して補正した集計結果では、1位は「同じ人間としての交流」(63.3%)、2位は「語学習得」(49.5%)となっている。

表2-8 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと（複数回答）

【女性】								(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計	
国際親善や相互理解	14 40.0%	26 49.1%	36 60.0%	26 45.6%	25 61.0%	6 40.0%	133 51.0%	296 49.3%	
世界平和	13 37.1%	16 30.2%	24 40.0%	22 38.6%	19 46.3%	4 26.7%	98 37.5%	219 36.5%	
同じ人間としての交流	22 62.9%	35 66.0%	44 73.3%	28 49.1%	28 68.3%	9 60.0%	166 63.6%	380 63.3%	
人権	5 14.3%	3 5.7%	9 15.0%	8 14.0%	5 12.2%	0 0.0%	30 11.5%	61 10.2%	
国際的な視野の考え方	9 25.7%	30 56.6%	29 48.3%	22 38.6%	18 43.9%	9 60.0%	117 44.8%	273 45.5%	
地域づくりや地域の活性化	2 5.7%	7 13.2%	6 10.0%	6 10.5%	14 34.1%	2 13.3%	37 14.2%	87 14.5%	
開発途上国の支援	4 11.4%	5 9.4%	6 10.0%	6 10.5%	4 9.8%	3 20.0%	28 10.7%	71 11.9%	
環境保護	2 5.7%	5 9.4%	5 8.3%	6 10.5%	7 17.1%	3 20.0%	28 10.7%	71 11.8%	
語学習得	23 65.7%	37 69.8%	23 38.3%	28 49.1%	14 34.1%	6 40.0%	131 50.2%	297 49.5%	
その他	1 2.9%	2 3.8%	1 1.7%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	5 1.9%	11 1.8%	
回答者数	35	53	60	57	41	15	261	600	

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 2-7 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと（複数回答）



問 8 外国人との交流や国際交流の経験がない、または外国人との交流や国際交流に参加したくない、その主な理由（複数回答）

問 5 の「外国人との交流や国際交流の経験がない」の回答者、または問 6 の「外国人との交流や国際交流に参加したくない」もしくは「どちらでもない」の回答者

男性、女性とも「きっかけや情報がない」という回答が最も多く、男性で 41.5%、女性で 47.0%であった。「時間的な余裕がない」「身近に思えない」という回答はそれぞれ 2割程度で、「交流の意義が不明」は男性で 12.7%、女性で 6.3%となった。

男性の回答を年代別でみると、30代では「時間的な余裕がない」という回答が 42.4%、「きっかけや情報がない」が 21.2%となっており、時間的な面から国際交流の経験等がないということがうかがえる。また、女性の回答では、「身近に思えない」という項目で、70代以上の人 45.5%が回答しており、他の年代より多くなっている。

各世代、男女とも同数の人が回答したとして補正した総計においても、「きっかけや情報がない」(43.3%)が最も多くなっている。

表 2-9 外国人との交流や国際交流の経験がない、または外国人との交流や国際交流に参加したくない、その主な理由（男性）（複数回答）

【男性】								（複数回答）	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計	
きっかけや情報がない	11 37.9%	7 21.2%	27 52.9%	28 38.4%	100 40.2%	74 46.3%	248 41.5%	237 39.5%	
時間的な余裕がない	8 27.6%	14 42.4%	14 27.5%	11 15.1%	48 19.3%	39 24.4%	135 22.6%	156 26.0%	
身近に思えない	8 27.6%	7 21.2%	10 19.6%	15 20.5%	57 22.9%	32 20.0%	129 21.6%	132 22.0%	
交流の意義が不明	5 17.2%	5 15.2%	6 11.8%	9 12.3%	36 14.5%	15 9.4%	76 12.7%	80 13.4%	
その他	2 6.9%	1 3.0%	3 5.9%	2 2.7%	20 8.0%	13 8.1%	41 6.9%	35 5.8%	
回答者数	29	33	51	73	249	160	597	600	

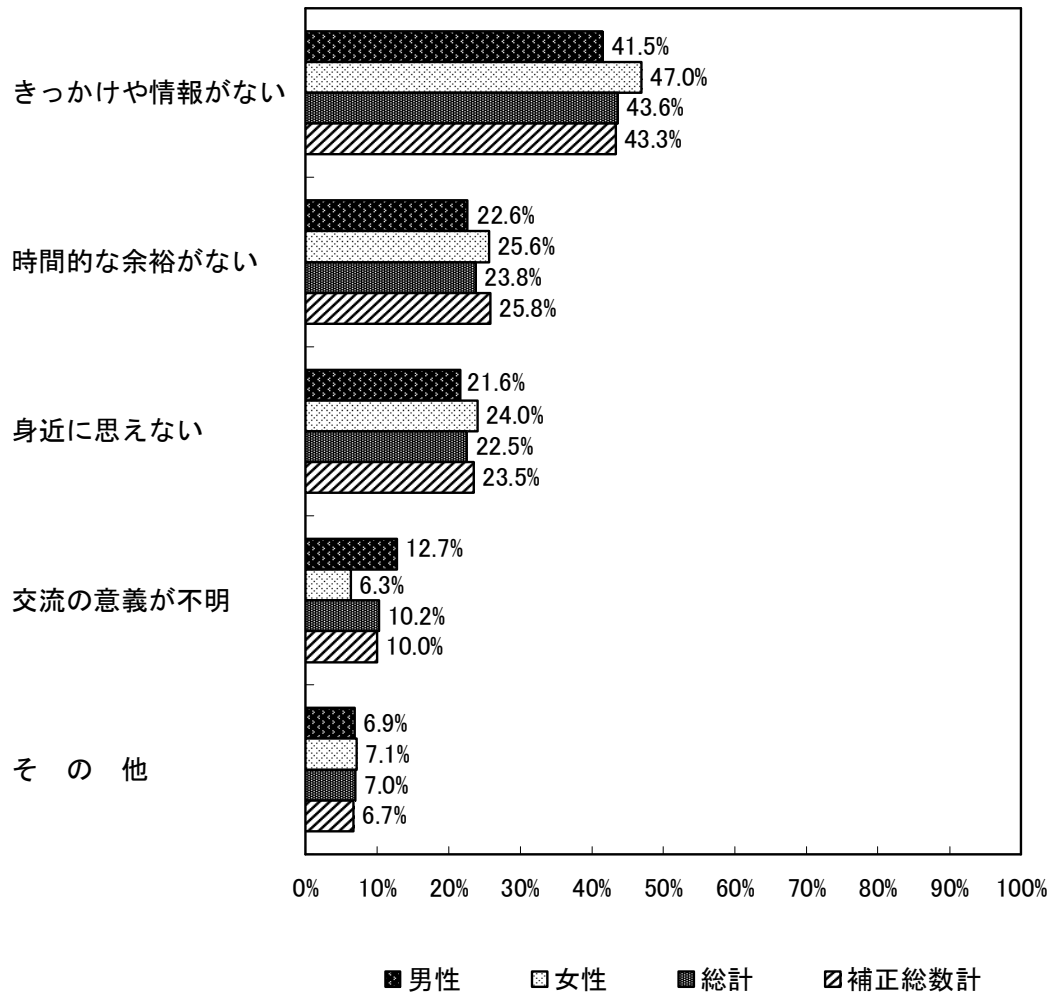
※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

表 2-10 外国人との交流や国際交流の経験がない、または外国人との交流や国際交流に参加したくない、その主な理由（女性）（複数回答）

【女性】								（複数回答）	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計	
きっかけや情報がない	23 52.3%	26 47.3%	29 42.6%	40 47.1%	40 48.2%	20 45.5%	178 47.0%	283 47.1%	
時間的な余裕がない	11 25.0%	16 29.1%	19 27.9%	26 30.6%	15 18.1%	10 22.7%	97 25.6%	153 25.6%	
身近に思えない	9 20.5%	10 18.2%	15 22.1%	20 23.5%	17 20.5%	20 45.5%	91 24.0%	150 25.0%	
交流の意義が不明	3 6.8%	6 10.9%	1 1.5%	5 5.9%	5 6.0%	4 9.1%	24 6.3%	40 6.7%	
その他	3 6.8%	5 9.1%	1 1.5%	5 5.9%	7 8.4%	6 13.6%	27 7.1%	45 7.6%	
回答者数	44	55	68	85	83	44	379	600	

※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 2 - 8 外国人との交流や国際交流の経験がない、または外国人との交流や国際交流に参加したくない、その主な理由（複数回答）



問 9 大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域
(複数回答)

大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域について、男性の回答で最も多かったのは、「東アジア」の 86.7%で、つづいて「東南アジア」37.2%、「北米」18.3%、「西欧」8.4%、「中南米」4.7%、「オセアニア」4.4%、以下「ロシアなど旧ソ連」「中近東」「アフリカ」「東欧」の順であった。

年代別では、「北米」をあげる人の割合が、年代が高くなるほど多くなる傾向がみられ、20代が12.2%、70代以上では22.1%となっている。また、30代では「東南アジア」という回答が他の年代よりやや低く22.7%となっており、「西欧」が18.2%と高くなっている。

各世代同数の人が回答したとして補正した集計結果においても、「東アジア」(85.2%)が最も多く、続いて「東南アジア」(35.4%)となっている。

表 2-1-1 大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域
(複数回答)

【男性】								(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計	
東 ア ジ ア	32 78.0%	37 84.1%	59 86.8%	86 89.6%	269 89.4%	163 83.6%	648 86.7%	511 85.2%	
東 南 ア ジ ア	14 34.1%	10 22.7%	24 35.3%	42 43.8%	109 36.2%	79 40.5%	278 37.2%	213 35.4%	
オ セ ア ニ ア	2 4.9%	1 2.3%	4 5.9%	5 5.2%	14 4.7%	7 3.6%	33 4.4%	26 4.4%	
ロシアなど旧ソ連	1 2.4%	2 4.5%	1 1.5%	1 1.0%	10 3.3%	10 5.1%	25 3.3%	18 3.0%	
北 米	5 12.2%	5 11.4%	11 16.2%	14 14.6%	59 19.6%	43 22.1%	137 18.3%	96 16.0%	
中 南 米	1 2.4%	1 2.3%	2 2.9%	4 4.2%	19 6.3%	8 4.1%	35 4.7%	22 3.7%	
西 欧	4 9.8%	8 18.2%	2 2.9%	8 8.3%	23 7.6%	18 9.2%	63 8.4%	56 9.3%	
東 欧	0 0.0%	1 2.3%	2 2.9%	1 1.0%	1 0.3%	2 1.0%	7 0.9%	8 1.3%	
中 近 東	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 4.0%	5 2.6%	17 2.3%	7 1.1%	
ア フ リ カ	3 7.3%	2 4.5%	3 4.4%	4 4.2%	1 0.3%	1 0.5%	14 1.9%	21 3.5%	
そ の 他	1 2.4%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.3%	1 0.5%	7 0.9%	7 1.1%	
わ か ら な い	4 9.8%	4 9.1%	5 7.4%	2 2.1%	14 4.7%	15 7.7%	44 5.9%	41 6.8%	
回 答 者 数	41	44	68	96	301	195	747	600	

※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

問9 大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域
(複数回答)

女性の回答で最も多かったのは、「東アジア」82.7%となった。つづいて「東南アジア」26.8%、「北米」14.6%と、上位3つは男性の回答と同じであった。女性の回答はつづいて、「オセアニア」11.3%、「西欧」5.4%、以下「中南米」「ロシアなど旧ソ連」「東欧」「アフリカ」「中近東」の順であった。

年代別でみると、60代で「北米」26.6%、「西欧」12.8%とそれぞれ他の年代より多くなっている。

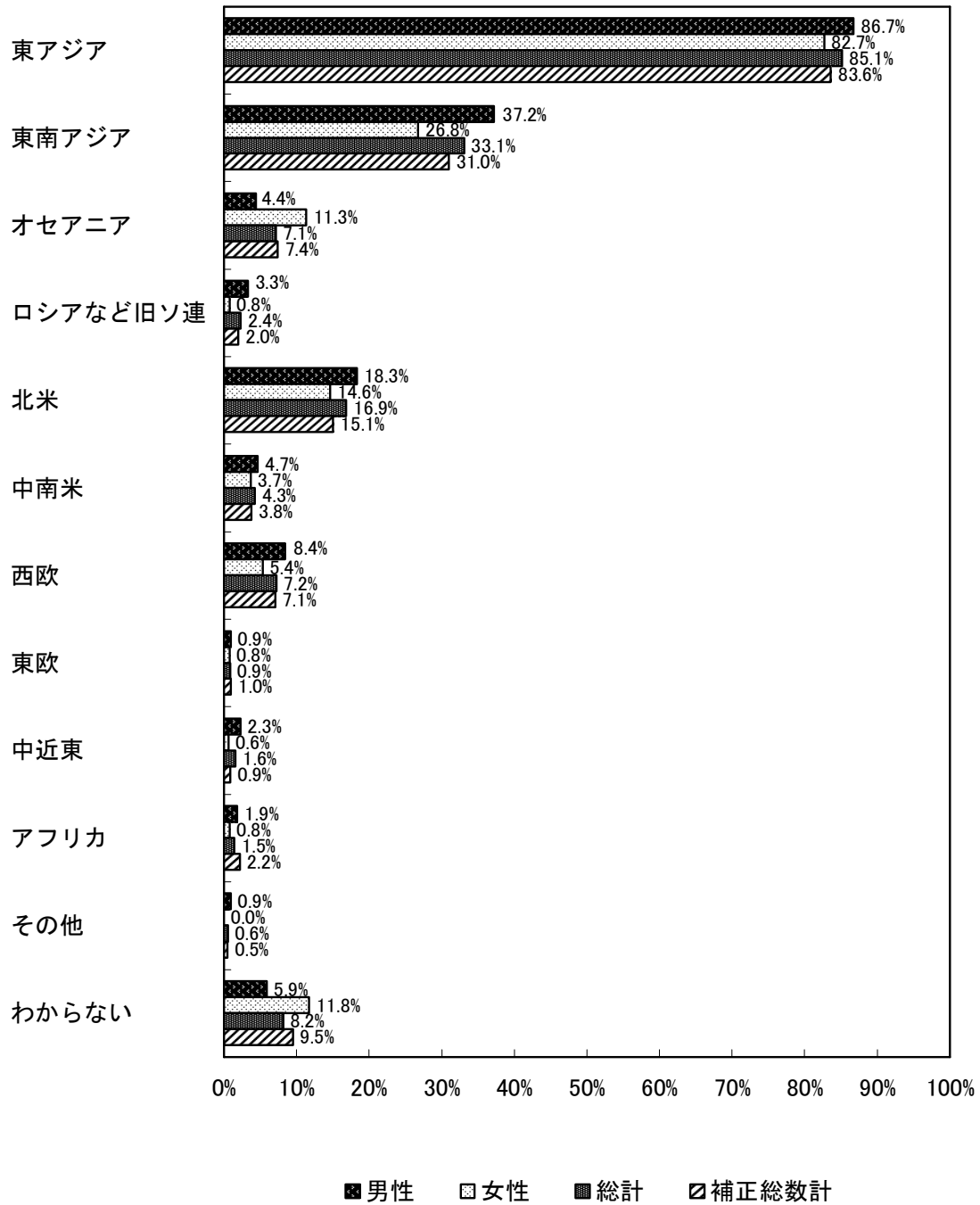
また、各世代同数の人が回答したとして補正した集計結果においても、最も多いのは「東アジア」(82.0%)で、次が「東南アジア」(26.6%)となっている。

表2-12 大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域
(複数回答)

	【女性】							(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計	
東 ア ジ ア	43 79.6%	66 81.5%	82 86.3%	92 84.4%	78 83.0%	40 76.9%	401 82.7%	492 82.0%	
東 南 ア ジ ア	15 27.8%	22 27.2%	22 23.2%	36 33.0%	22 23.4%	13 25.0%	130 26.8%	160 26.6%	
オ セ ア ニ ア	3 5.6%	9 11.1%	10 10.5%	17 15.6%	13 13.8%	3 5.8%	55 11.3%	62 10.4%	
ロ シ ア な ど 旧 ソ 連	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.1%	2 3.8%	4 0.8%	6 1.0%	
北 米	6 11.1%	8 9.9%	12 12.6%	13 11.9%	25 26.6%	7 13.5%	71 14.6%	86 14.3%	
中 南 米	2 3.7%	2 2.5%	0 0.0%	5 4.6%	6 6.4%	3 5.8%	18 3.7%	23 3.8%	
西 欧	1 1.9%	1 1.2%	5 5.3%	5 4.6%	12 12.8%	2 3.8%	26 5.4%	30 4.9%	
東 欧	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	2 2.1%	1 1.9%	4 0.8%	5 0.8%	
中 近 東	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	1 1.1%	0 0.0%	3 0.6%	4 0.6%	
ア フ リ カ	1 1.9%	1 1.2%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.8%	5 0.8%	
そ の 他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
わ か ら な い	7 13.0%	12 14.8%	10 10.5%	12 11.0%	8 8.5%	8 15.4%	57 11.8%	73 12.2%	
回 答 者 数	54	81	95	109	94	52	485	600	

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 2 - 9 大分市にとって関係の深い地域または将来的に深くなると思われる地域
(複数回答)



問 10 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと（複数回答）

男性の回答で最も多いのは「学校教育や社会教育での語学教育の充実」43.8%で、どの年代でも回答率が高かった。つづいて「国際感覚をもった青少年の育成」35.1%、「青少年交流の促進」34.3%であったが、20代の回答では17~19%となっており、高い世代からの回答が多いという傾向が見られた。次に「地域に住む外国籍市民との国際交流の促進」31.1%、「大分市の観光・産業等の情報発信」27.8%となった。他の項目では、20代で「ビックアイを活用した国際スポーツイベントの開催」に約5割、「市民による草の根交流の促進」に約4割と多くの人々が回答している。また、「市民による草の根交流の促進」は、50代でも32.3%の人が回答している。「国際交流団体の育成」は、70代以上で25.1%と、他の年代より多くの人に選択されている。

女性の回答では、「学校教育や社会教育での語学教育の充実」50.7%と、男性の回答と同じく最も多く回答されており、「ビックアイを活用した国際スポーツイベントの開催」が35.1%となった。つづいて「国際感覚をもった青少年の育成」が34.0%となっていたが、20代では20.4%、70代以上では44.2%と男性の回答と同じく、高い年代に選択される傾向がみられた。「地域に住む外国籍市民との国際交流の促進」が31.8%、「大分市の観光・産業等の情報発信」が23.9%とつづいているが、「大分市の観光・産業等の情報発信」は、20代は13.0%、70代以上で32.7%と世代により差がみられた。他の項目では、「ホームステイなどの機会拡大と情報提供」に20代で38.9%、「市民による草の根交流の促進」に50代、60代で約2割と、他の世代より多くなっている。

また、男女および各世代が同数の回答を得たと仮定した補正総計においても、「学校教育や社会教育での語学教育の充実」(46.4%)が最も多くなっており、次が「国際感覚を持った青少年の育成」(32.5%)となっており、若い頃からの国際交流の機会を教育等の中に取り入れることについての必要性を唱える意見が多かった。

表 2 - 1 3 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと（男性）（複数回答）

	【男性】							(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計	
市民による草の根交流の促進	16 39.0%	8 18.2%	13 19.1%	31 32.3%	61 20.3%	51 26.2%	181 24.2%	155 25.8%	
国際交流団体の育成	3 7.3%	7 15.9%	11 16.2%	15 15.6%	60 19.9%	49 25.1%	145 19.4%	100 16.7%	
国際交流に対する助成	3 7.3%	6 13.6%	10 14.7%	18 18.8%	42 14.0%	25 12.8%	104 13.9%	81 13.5%	
地域に住む外国籍市民との国際交流の促進	11 26.8%	18 40.9%	20 29.4%	36 37.5%	87 28.9%	60 30.8%	232 31.1%	194 32.4%	
留学生、研修生の受入拡大	8 19.5%	8 18.2%	13 19.1%	20 20.8%	71 23.6%	48 24.6%	170 22.8%	126 21.0%	
留学生、研修生への助成	6 14.6%	5 11.4%	9 13.2%	13 13.5%	28 9.3%	23 11.8%	84 11.2%	74 12.3%	
高技術・知識を持つ留学生の起業促進や活用	4 9.8%	8 18.2%	12 17.6%	9 9.4%	31 10.3%	21 10.8%	85 11.4%	76 12.7%	
学校教育や社会教育での語学教育の充実	20 48.8%	18 40.9%	23 33.8%	36 37.5%	136 45.2%	93 47.7%	327 43.8%	254 42.3%	
シンポジウムや講演会による国際理解機会の充実	4 9.8%	2 4.5%	7 10.3%	6 6.3%	42 14.0%	28 14.4%	89 11.9%	59 9.9%	
ビッグアイを活用した国際スポーツイベントの開催	20 48.8%	12 27.3%	19 27.9%	22 22.9%	62 20.6%	48 24.6%	184 24.6%	172 28.7%	
ホームステイなどの機会拡大と情報提供	9 22.0%	7 15.9%	12 17.6%	21 21.9%	53 17.6%	26 13.3%	128 17.1%	108 18.1%	
国際交流拠点施設の施設整備	5 12.2%	3 6.8%	7 10.3%	13 13.5%	42 14.0%	25 12.8%	95 12.7%	70 11.6%	
国際交流ボランティアの育成と情報提供	3 7.3%	4 9.1%	10 14.7%	15 15.6%	43 14.3%	27 13.8%	102 13.7%	75 12.5%	
文化芸術、教育交流の促進・情報提供	5 12.2%	10 22.7%	9 13.2%	14 14.6%	37 12.3%	35 17.9%	111 14.9%	93 15.5%	
青少年交流の促進	8 19.5%	7 15.9%	15 22.1%	27 28.1%	120 39.9%	78 40.0%	256 34.3%	165 27.6%	
国際感覚をもった青少年の育成	7 17.1%	14 31.8%	22 32.4%	31 32.3%	116 38.5%	71 36.4%	262 35.1%	188 31.4%	
国際的な博覧会などの開催や経済活動の情報提供	2 4.9%	5 11.4%	4 5.9%	6 6.3%	13 4.3%	15 7.7%	45 6.0%	40 6.7%	
開発途上国支援や国際協力に関する情報提供	2 4.9%	3 6.8%	6 8.8%	4 4.2%	24 8.0%	14 7.2%	53 7.1%	40 6.6%	
外国人観光客の誘致促進	8 19.5%	7 15.9%	9 13.2%	26 27.1%	70 23.3%	42 21.5%	162 21.7%	121 20.1%	
大分市の観光・産業等の情報発信	8 19.5%	12 27.3%	17 25.0%	21 21.9%	87 28.9%	63 32.3%	208 27.8%	155 25.8%	
国際交流や国際化に関する窓口設置	4 9.8%	4 9.1%	3 4.4%	11 11.5%	42 14.0%	21 10.8%	86 11.5%	59 9.9%	
その他	0 0.0%	3 6.8%	6 8.8%	5 5.2%	9 3.0%	1 0.5%	24 3.2%	24 4.1%	
回答者数	41	44	68	96	301	195	747	600	

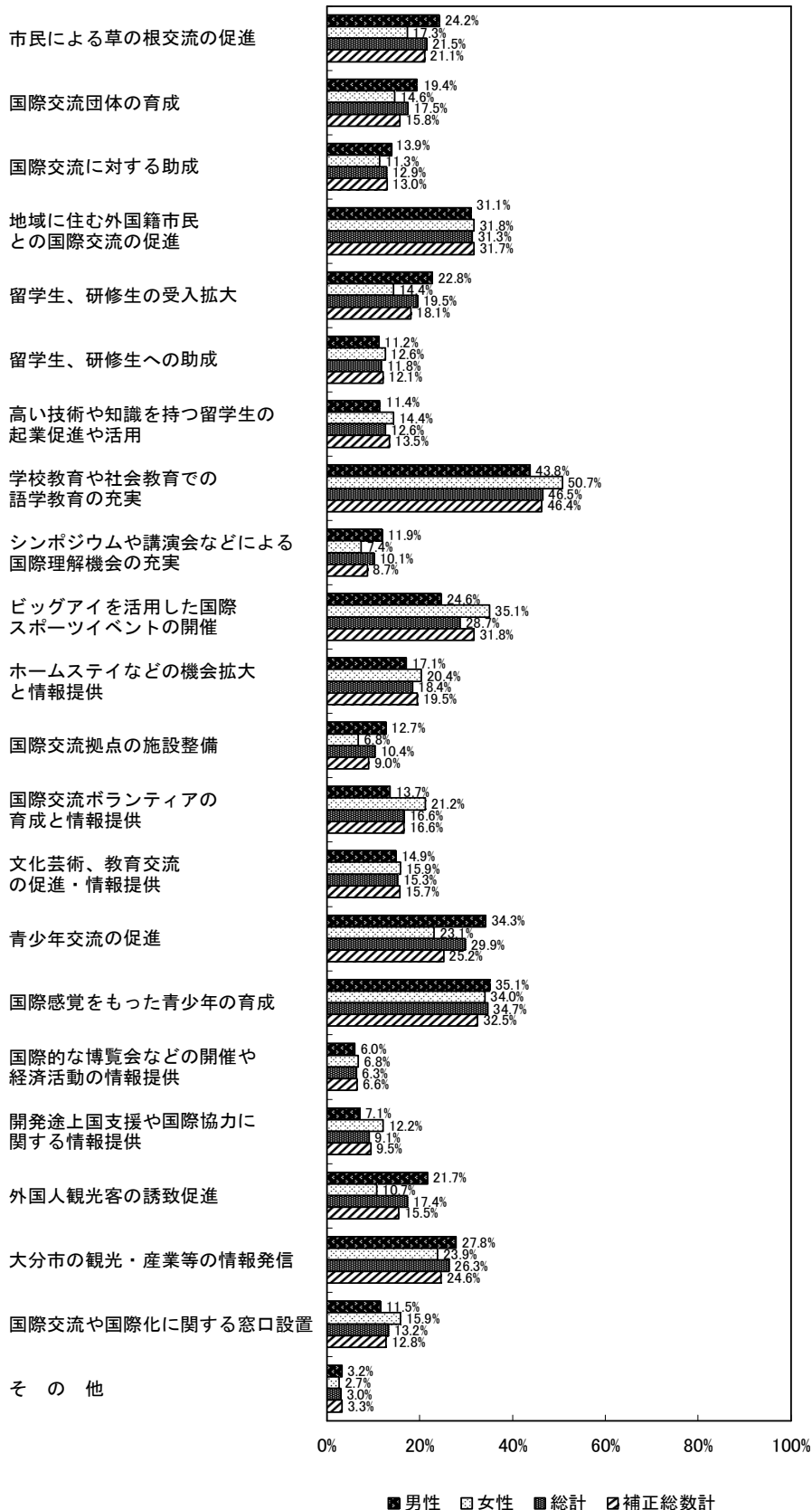
※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

表2-14 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと（女性）（複数回答）

	【女性】						（複数回答）	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計
市民による草の根交流の促進	6 11.1%	10 12.3%	15 15.8%	26 23.9%	20 21.3%	7 13.5%	84 17.3%	98 16.3%
国際交流団体の育成	7 13.0%	7 8.6%	12 12.6%	18 16.5%	16 17.0%	11 21.2%	71 14.6%	89 14.8%
国際交流に対する助成	8 14.8%	12 14.8%	10 10.5%	7 6.4%	8 8.5%	10 19.2%	55 11.3%	74 12.4%
地域に住む外国籍市民との国際交流の促進	14 25.9%	24 29.6%	32 33.7%	37 33.9%	32 34.0%	15 28.8%	154 31.8%	186 31.0%
留学生、研修生の受入拡大	10 18.5%	14 17.3%	16 16.8%	7 6.4%	14 14.9%	9 17.3%	70 14.4%	91 15.2%
留学生、研修生への助成	6 11.1%	11 13.6%	14 14.7%	19 17.4%	8 8.5%	3 5.8%	61 12.6%	71 11.9%
高技術・知識を持つ留学生の起業促進や活用	5 9.3%	16 19.8%	14 14.7%	15 13.8%	12 12.8%	8 15.4%	70 14.4%	86 14.3%
学校教育や社会教育での語学教育の充実	26 48.1%	42 51.9%	50 52.6%	54 49.5%	49 52.1%	25 48.1%	246 50.7%	302 50.4%
シンポジウムや講演会による国際理解機会の充実	3 5.6%	4 4.9%	5 5.3%	6 5.5%	12 12.8%	6 11.5%	36 7.4%	46 7.6%
ビッグアイを活用した国際スポーツイベントの開催	22 40.7%	32 39.5%	33 34.7%	36 33.0%	34 36.2%	13 25.0%	170 35.1%	209 34.9%
ホームステイなどの機会拡大と情報提供	21 38.9%	18 22.2%	24 25.3%	23 21.1%	8 8.5%	5 9.6%	99 20.4%	126 20.9%
国際交流拠点の施設整備	2 3.7%	5 6.2%	6 6.3%	9 8.3%	8 8.5%	3 5.8%	33 6.8%	39 6.5%
国際交流ボランティアの育成と情報提供	14 25.9%	13 16.0%	21 22.1%	27 24.8%	21 22.3%	7 13.5%	103 21.2%	125 20.8%
文化芸術、教育交流の促進・情報提供	10 18.5%	8 9.9%	18 18.9%	14 12.8%	19 20.2%	8 15.4%	77 15.9%	96 16.0%
青少年交流の促進	6 11.1%	22 27.2%	21 22.1%	21 19.3%	28 29.8%	14 26.9%	112 23.1%	136 22.7%
国際感覚をもった青少年の育成	11 20.4%	23 28.4%	31 32.6%	43 39.4%	34 36.2%	23 44.2%	165 34.0%	201 33.5%
国際的な博覧会などの開催や経済活動の情報提供	5 9.3%	6 7.4%	5 5.3%	11 10.1%	6 6.4%	0 0.0%	33 6.8%	38 6.4%
開発途上国支援や国際協力に関する情報提供	7 13.0%	8 9.9%	14 14.7%	15 13.8%	7 7.4%	8 15.4%	59 12.2%	74 12.4%
外国人観光客の誘致促進	8 14.8%	7 8.6%	6 6.3%	15 13.8%	10 10.6%	6 11.5%	52 10.7%	66 11.0%
大分市の観光・産業等の情報発信	7 13.0%	12 14.8%	16 16.8%	31 28.4%	33 35.1%	17 32.7%	116 23.9%	141 23.5%
国際交流や国際化に関する窓口設置	6 11.1%	12 14.8%	18 18.9%	17 15.6%	15 16.0%	9 17.3%	77 15.9%	94 15.6%
その他	1 1.9%	6 7.4%	1 1.1%	2 1.8%	3 3.2%	0 0.0%	13 2.7%	15 2.6%
回答者数	54	81	95	109	94	52	485	600

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 2-10 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと（複数回答）



3 外国籍市民との共生についておたずねします。

問 1 1 日本人や外国籍市民がともに暮らしやすいと思える都市づくり

男性、女性とも約8割が「大変重要」「やや重要」と答え、「重要でない」は、4～5%と少数であった。また、「大変重要」が男性で55.3%、女性で43.9%であったことから、男性の方がより積極的に考えていることがうかがえる結果となっている。また、「大変重要」を年代別にみると、男性では20代で41.5%とやや低く、40代、50代では約6割の人が選択していた。女性では、50代が35.8%で低かったが、他の年代では44～48%となっている。

各世代が同数の回答をしたと仮定した補正総計においてもこの傾向は同様で、男女とも「大変重要」が最も多くなっているが、男性は過半数を占めているのに対し、女性は若干少なく44.5%となっている。

表 3 - 1 日本人や外国籍市民がともに暮らしやすいと思える都市づくり

【男性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計
大 変 重 要	17 41.5%	25 56.8%	41 60.3%	57 59.4%	164 54.5%	108 55.4%	413 55.3%	328 54.6%
や や 重 要	15 36.6%	12 27.3%	17 25.0%	26 27.1%	81 26.9%	43 22.1%	195 26.1%	165 27.5%
重 要 で な い	2 4.9%	5 11.4%	3 4.4%	6 6.3%	13 4.3%	9 4.6%	38 5.1%	36 6.0%
わ か ら な い	6 14.6%	1 2.3%	6 8.8%	6 6.3%	20 6.6%	19 9.7%	58 7.8%	48 8.1%
無 回 答	1 2.4%	1 2.3%	1 1.5%	1 1.0%	23 7.6%	16 8.2%	43 5.8%	23 3.8%
総 計	41 100.0%	44 100.0%	68 100.0%	96 100.0%	301 100.0%	195 100.0%	747 100.0%	600 100.0%

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

表 3 - 2 日本人や外国籍市民がともに暮らしやすいと思える都市づくり

【女性】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計
大 変 重 要	24 44.4%	38 46.9%	44 46.3%	39 35.8%	43 45.7%	25 48.1%	213 43.9%	267 44.5%
や や 重 要	22 40.7%	34 42.0%	39 41.1%	41 37.6%	31 33.0%	15 28.8%	182 37.5%	223 37.2%
重 要 で な い	3 5.6%	1 1.2%	1 1.1%	6 5.5%	4 4.3%	4 7.7%	19 3.9%	25 4.2%
わ か ら な い	2 3.7%	6 7.4%	7 7.4%	12 11.0%	10 10.6%	6 11.5%	43 8.9%	52 8.6%
無 回 答	3 5.6%	2 2.5%	4 4.2%	11 10.1%	6 6.4%	2 3.8%	28 5.8%	33 5.4%
総 計	54 100.0%	81 100.0%	95 100.0%	109 100.0%	94 100.0%	52 100.0%	485 100.0%	600 100.0%

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 3 - 1 日本人や外国籍市民がともに暮らしやすいと思える都市づくり

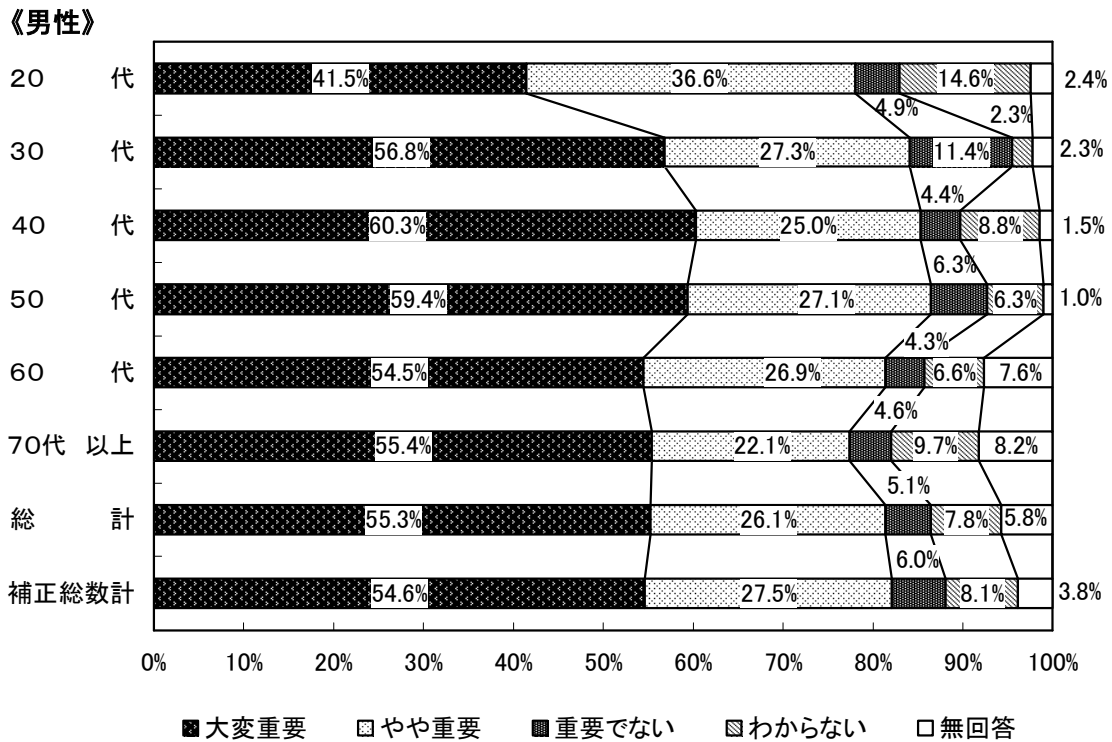
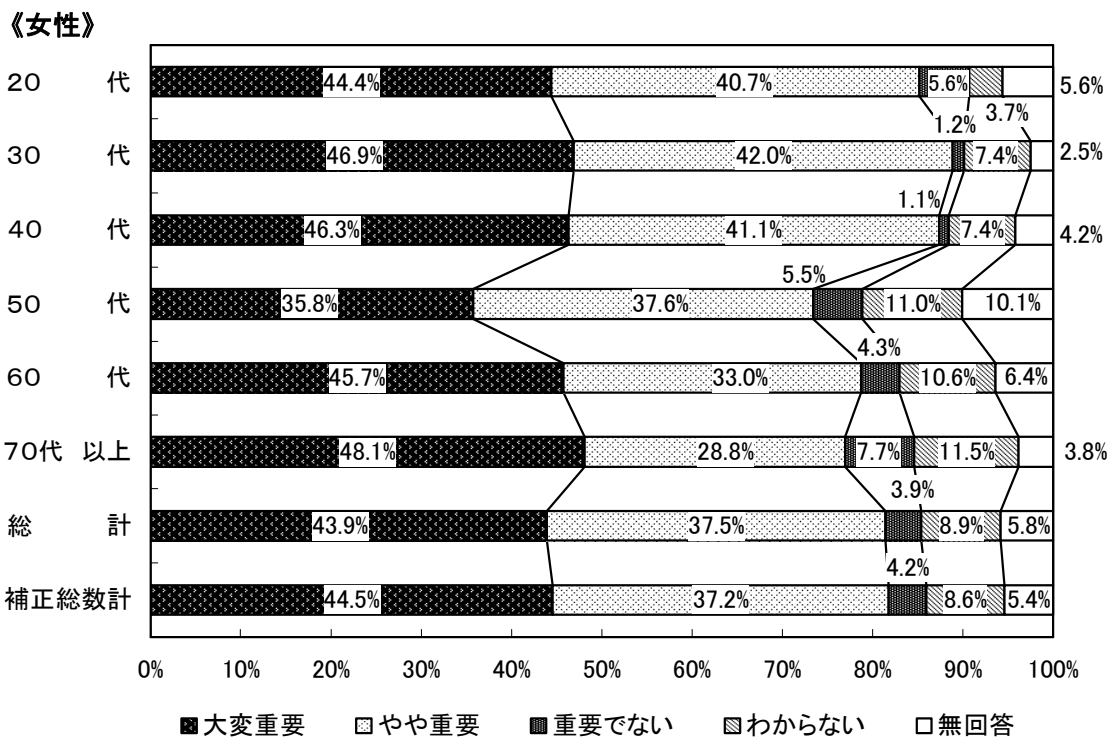


図 3 - 2 日本人や外国籍市民がともに暮らしやすいと思える都市づくり



問 1 2 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりをする上で必要と思われること（複数回答）

男性、女性の回答とも、上位3つは「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」「文化や生活習慣などの相互理解」「身近なことからはじめる交流」となっており、それぞれ約4割から6割の人が選択している。

また男性の回答では、「地域活動等に参加しやすい環境づくり」も約4割と多かったが、20代では9.8%と低く、年代による意識の差がみられる。つづく男性の回答は「地域のルール(ゴミ選別等)、情報の外国語による提供」「相談窓口や交流助言窓口の充実」「外国語の習得」がそれぞれ約2割となっている。「地域のルール(ゴミ選別等)、情報の外国語による提供」は、30代で43.2%となっており、60代以上では15.9%とここでも差がみられている。

女性の回答では、上位3項目について、「地域活動等に参加しやすい環境づくり」「地域のルール(ゴミ選別等)、情報の外国語による提供」がそれぞれ約3割、「相談窓口や交流助言窓口の充実」が24.7%、「外国語の習得」19.6%という結果であった。年代によって意識の差がみられた項目は、「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」が、70代以上で67.3%と多くなっており、また、60代では、「地域活動等に参加しやすい環境づくり」が45.7%と、他の年代より意識されていることがうかがえた。

男女および各世代が同数回答したと仮定した集計結果においては、「文化や生活習慣などの相互理解」(54.3%)が最も多くなっており、次が「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」(51.0%)、3番目が「身近なことからはじめる交流」(43.1%)となっている。

表 3-3 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりをする上で必要と思われること
(複数回答)

【男性】								(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計	
外国人に対する差別や偏見をなくすこと	20 48.8%	19 43.2%	32 47.1%	50 52.1%	141 46.8%	105 53.8%	368 49.3%	292 48.6%	
文化や生活習慣などの相互理解	23 56.1%	25 56.8%	44 64.7%	54 56.3%	169 56.1%	112 57.4%	427 57.2%	347 57.9%	
身近なことからはじめる交流	15 36.6%	11 25.0%	23 33.8%	46 47.9%	123 40.9%	93 47.7%	311 41.6%	232 38.6%	
地域のルール、情報の外国語による提供	12 29.3%	19 43.2%	18 26.5%	23 24.0%	48 15.9%	31 15.9%	151 20.2%	155 25.8%	
地域活動等に参加しやすい環境づくり	4 9.8%	12 27.3%	28 41.2%	36 37.5%	142 47.2%	77 39.5%	300 40.2%	202 33.7%	
相談窓口や交流助言窓口の充実	14 34.1%	12 27.3%	15 22.1%	14 14.6%	57 18.9%	36 18.5%	148 19.8%	135 22.6%	
外国語の習得	14 34.1%	13 29.5%	10 14.7%	20 20.8%	61 20.3%	44 22.6%	163 21.8%	142 23.7%	
その他	1 2.4%	4 9.1%	7 10.3%	5 5.2%	7 2.3%	2 1.0%	26 3.5%	30 5.1%	
回答者数	41	44	68	96	301	195	747	600	

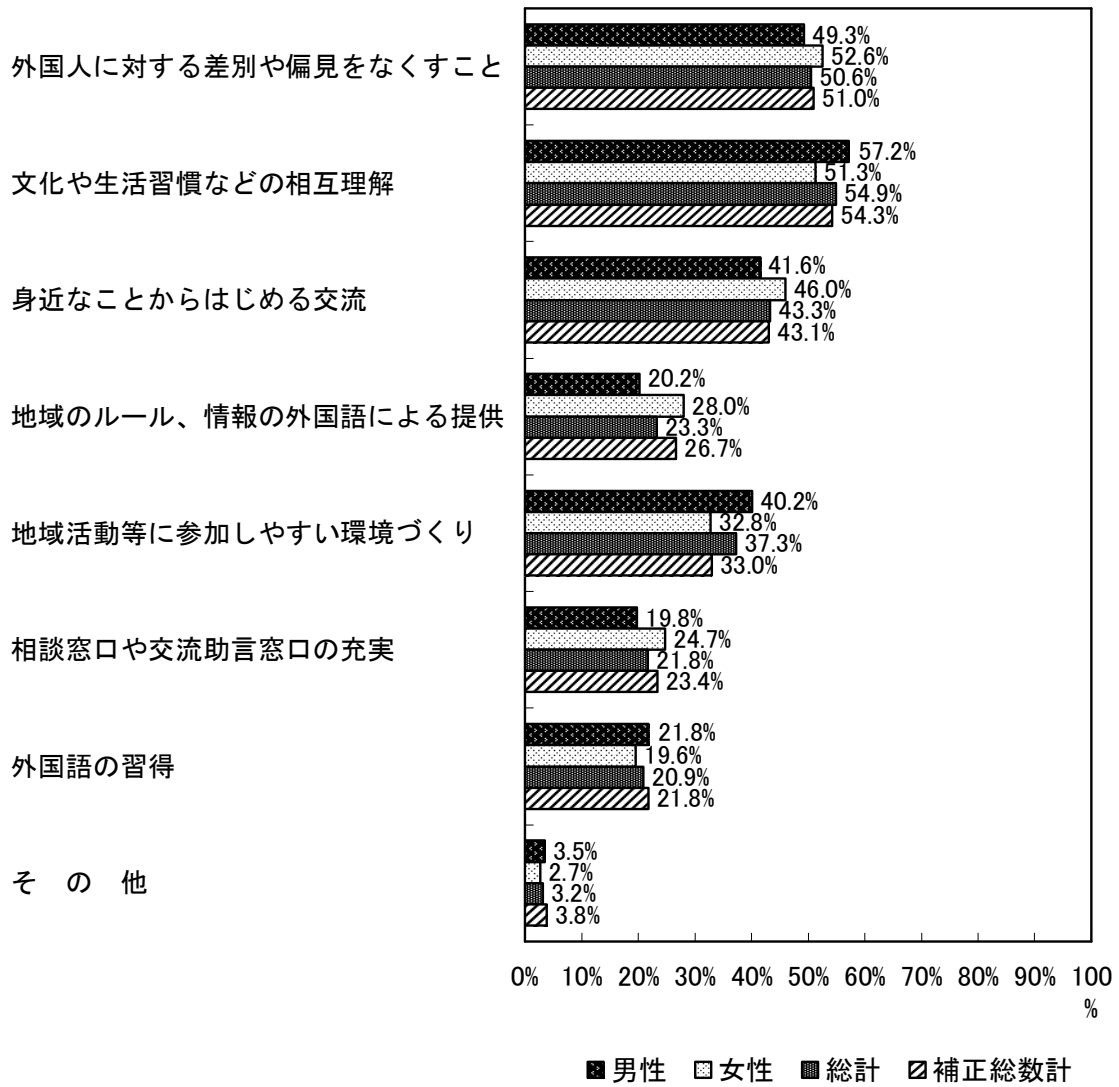
※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

表 3-4 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりをする上で必要と思われること
(複数回答)

【女性】								(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計	
外国人に対する差別や偏見をなくすこと	25 46.3%	41 50.6%	54 56.8%	52 47.7%	48 51.1%	35 67.3%	255 52.6%	320 53.3%	
文化や生活習慣などの相互理解	28 51.9%	47 58.0%	54 56.8%	56 51.4%	43 45.7%	21 40.4%	249 51.3%	304 50.7%	
身近なことからはじめる交流	28 51.9%	31 38.3%	40 42.1%	46 42.2%	46 48.9%	32 61.5%	223 46.0%	285 47.5%	
地域のルール、情報の外国語による提供	12 22.2%	28 34.6%	35 36.8%	28 25.7%	20 21.3%	13 25.0%	136 28.0%	166 27.6%	
地域活動等に参加しやすい環境づくり	14 25.9%	23 28.4%	27 28.4%	35 32.1%	43 45.7%	17 32.7%	159 32.8%	193 32.2%	
相談窓口や交流助言窓口の充実	12 22.2%	23 28.4%	22 23.2%	29 26.6%	24 25.5%	10 19.2%	120 24.7%	145 24.2%	
外国語の習得	15 27.8%	16 19.8%	13 13.7%	25 22.9%	17 18.1%	9 17.3%	95 19.6%	120 19.9%	
その他	0 0.0%	3 3.7%	3 3.2%	3 2.8%	2 2.1%	2 3.8%	13 2.7%	16 2.6%	
回答者数	54	81	95	109	94	52	485	600	

※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 3-3 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりをする上で必要と思われること
(複数回答)



問 1 3 外国籍市民に望むことや期待すること（複数回答）

男性、女性の回答とも、「日本の生活習慣、文化の理解」約7割、「近所とのコミュニケーション、友情」約5割、「文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加」男性 40.3%、女性 48.2%、「日本語の習得」約3割、「海外へ大分の魅力や情報を発信すること」に26～28%という順になっていた。「日本の生活習慣、文化の理解」は、どの世代でも最も多くの人を選択していたが、20代では約6割、70代以上では約8割とやや意識の差がみられる。

また、女性の回答では、「海外へ大分の魅力や情報を発信すること」を30代では13.6%の人が選択していたが、60代、70代以上では約4割となっている。

男女および各世代が同数回答したと仮定して集計した結果においても上記と同様、「日本の生活習慣、文化の理解」(71.4%)が最も多くなっている。

表 3-5 外国籍市民に望むことや期待すること（複数回答）

【男性】							(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計
日本の生活習慣、文化の理解	27 65.9%	32 72.7%	44 64.7%	71 74.0%	228 75.7%	162 83.1%	564 75.5%	436 72.7%
近所とのコミュニケーション、友情	24 58.5%	16 36.4%	30 44.1%	55 57.3%	156 51.8%	106 54.4%	388 51.9%	302 50.4%
日本語の習得	15 36.6%	14 31.8%	28 41.2%	27 28.1%	95 31.6%	82 42.1%	262 35.1%	211 35.2%
外国語・専門知識をいかした地域づくりの参加	20 48.8%	21 47.7%	32 47.1%	36 37.5%	123 40.9%	68 34.9%	301 40.3%	257 42.8%
海外へ大分の魅力や情報を発信すること	11 26.8%	9 20.5%	15 22.1%	26 27.1%	83 27.6%	63 32.3%	207 27.7%	156 26.1%
その他	3 7.3%	4 9.1%	5 7.4%	2 2.1%	6 2.0%	2 1.0%	22 2.9%	29 4.8%
回答者数	41	44	68	96	301	195	747	600

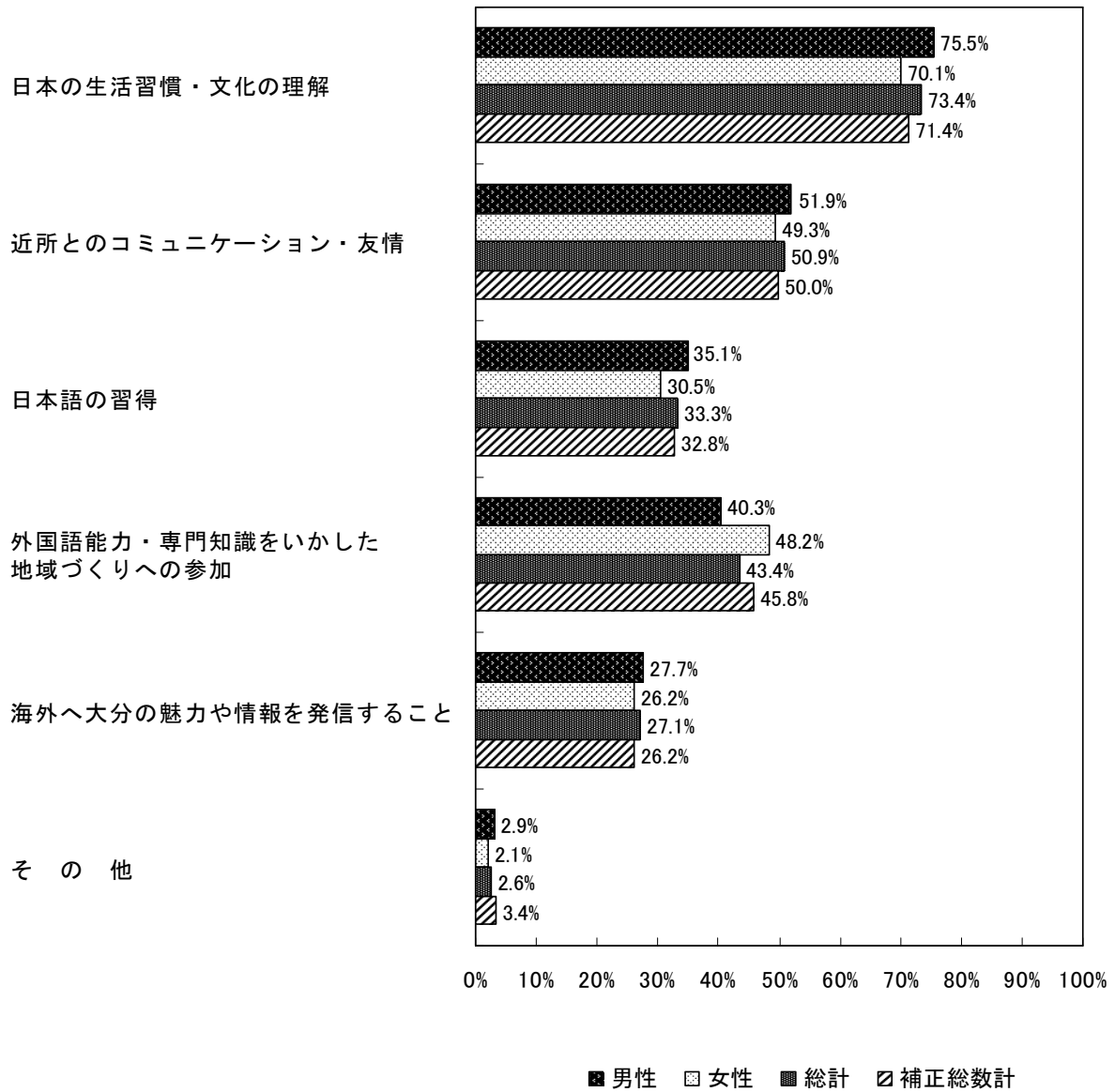
※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

表 3-6 外国籍市民に望むことや期待すること（複数回答）

【女性】							(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計
日本の生活習慣、文化の理解	31 57.4%	62 76.5%	63 66.3%	79 72.5%	63 67.0%	42 80.8%	340 70.1%	421 70.1%
近所とのコミュニケーション、友情	27 50.0%	43 53.1%	47 49.5%	50 45.9%	46 48.9%	26 50.0%	239 49.3%	297 49.6%
日本語の習得	24 44.4%	16 19.8%	24 25.3%	43 39.4%	29 30.9%	12 23.1%	148 30.5%	183 30.5%
外国語・専門知識をいかした地域づくりの参加	24 44.4%	43 53.1%	46 48.4%	44 40.4%	48 51.1%	29 55.8%	234 48.2%	293 48.9%
海外へ大分の魅力や情報を発信すること	10 18.5%	11 13.6%	24 25.3%	25 22.9%	37 39.4%	20 38.5%	127 26.2%	158 26.4%
その他	1 1.9%	2 2.5%	3 3.2%	1 0.9%	2 2.1%	1 1.9%	10 2.1%	12 2.1%
回答者数	54	81	95	109	94	52	485	600

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図 3 - 4 外国籍市民に望むことや期待すること（複数回答）



4 その他

問 1 4 国際化計画において大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと (複数回答)

国際化計画において大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことについて、男性の回答では、「海、山、川がある自然環境」が最も多く 51.1%、次が「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」の 43.4%、3番目が「アジアに近い九州の中核市」39.6%、となっている。

20代では、「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」(26.8%)、「アジアに近い九州の中核市」(22.0%)といった項目は他世代よりも低くなっており、一方「ビッグアイ、高崎山などの交流施設」(31.7%)、「ワールドカップサッカー大会の開催経験」(34.1%)をあげた人が逆に多くなっている。また 70代以上では「大友宗麟公時代の南蛮貿易」(26.2%)の回答が高くなっており、他世代より意識されていることがわかる。「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」については、20代では 26.8%であるが、年代が高くなるにつれ多くなっており、70代以上では 53.3%となっている。

また、各世代同数の人が回答したと仮定して補正した集計結果においても、「海、山、川がある自然環境」(54.3%)が最も多くなっている。

表 4-1 国際化計画において大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと (複数回答)

	【男性】						(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計 (年齢不明含)	補正総数計
大友宗麟公時代の南蛮貿易	7 17.1%	6 13.6%	8 11.8%	16 16.7%	38 12.6%	51 26.2%	126 16.9%	98 16.3%
新産業都市と世界トップレベルの産業集積	8 19.5%	12 27.3%	16 23.5%	17 17.7%	89 29.6%	59 30.3%	201 26.9%	148 24.6%
海、山、川がある自然環境	27 65.9%	22 50.0%	35 51.5%	59 61.5%	141 46.8%	98 50.3%	382 51.1%	326 54.3%
県都の役割	3 7.3%	2 4.5%	2 2.9%	12 12.5%	32 10.6%	27 13.8%	79 10.6%	52 8.6%
FAZ・高速道路体系、国際化を支える社会基盤	7 17.1%	4 9.1%	11 16.2%	14 14.6%	55 18.3%	44 22.6%	136 18.2%	98 16.3%
アジアに近い九州の中核市	9 22.0%	16 36.4%	27 39.7%	44 45.8%	115 38.2%	84 43.1%	296 39.6%	225 37.5%
ビッグアイ、高崎山などの交流施設	13 31.7%	8 18.2%	14 20.6%	12 12.5%	27 9.0%	43 22.1%	117 15.7%	114 19.0%
ワールドカップサッカー大会の開催経験	14 34.1%	7 15.9%	11 16.2%	13 13.5%	26 8.6%	15 7.7%	86 11.5%	96 16.0%
国際提携都市や国際都市間の市民交流	11 26.8%	13 29.5%	26 38.2%	40 41.7%	130 43.2%	104 53.3%	324 43.4%	233 38.8%
増加する留学生をはじめとする外国籍市民	7 17.1%	12 27.3%	13 19.1%	22 22.9%	45 15.0%	26 13.3%	125 16.7%	115 19.1%
その他	0 0.0%	1 2.3%	6 8.8%	0 0.0%	5 1.7%	2 1.0%	14 1.9%	14 2.3%
回答者数	41	44	68	96	301	195	747	600

※補正総数計＝全ての世代で、各 100 人ずつ回答したとして補正した数値と割合

問 1 4 国際化計画において大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと
(複数回答)

国際化計画において大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことについて、女性の回答では、「海、山、川がある自然環境」(61.9%)が最も多く、次に「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」(39.8%)、3番目は「アジアに近い九州の中核市」(30.3%)となっている。

世代別にみると、70代以上では「大友宗麟公時代の南蛮貿易」をあげた人が40.4%と多くなっているのに対し、20代では5.6%とかなり低い数字となっている。

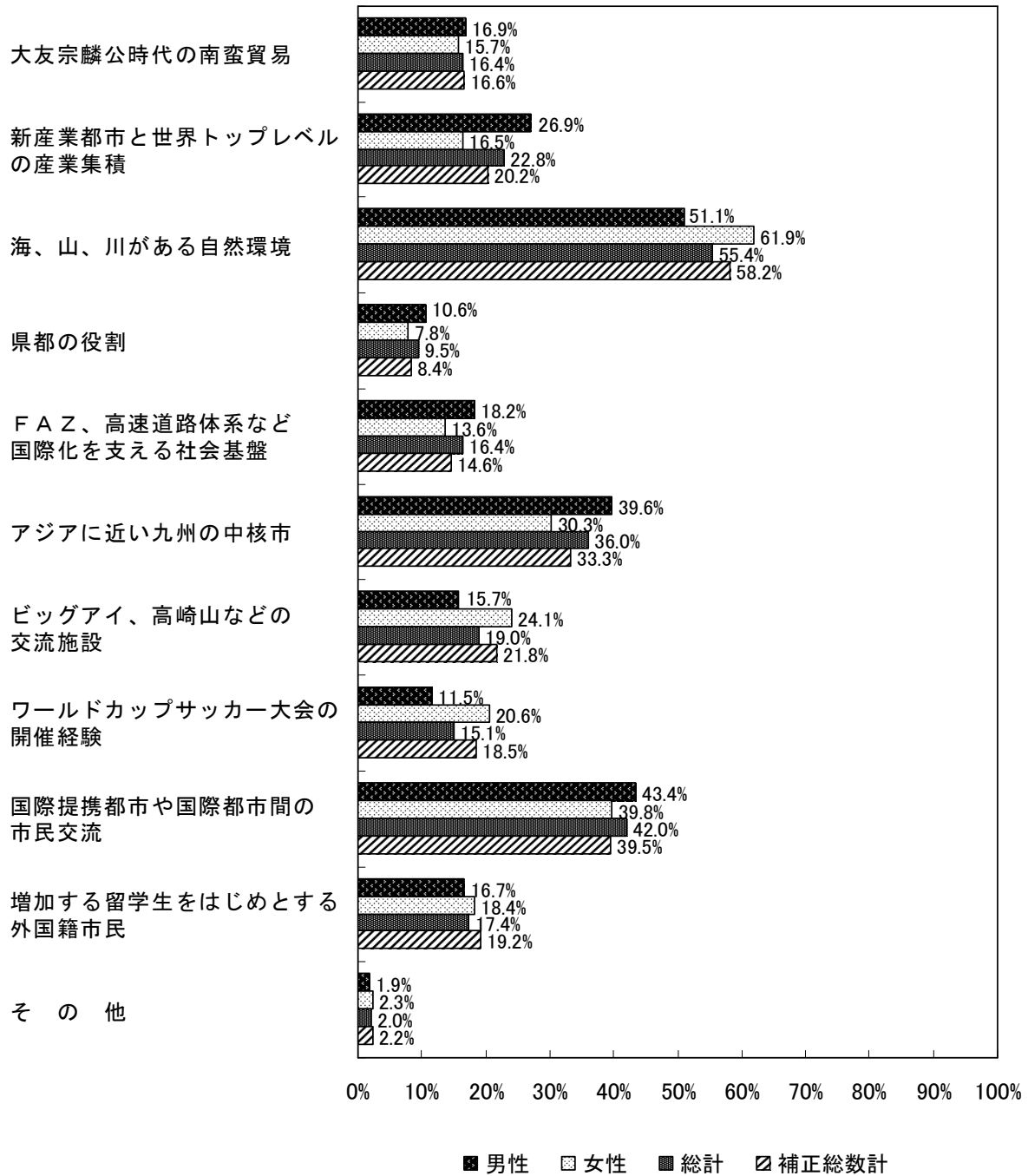
また、各世代同数の人が回答したと仮定して補正した集計結果においても、「海、山、川がある自然環境」(40.1%)が最も多くなっている。

表 4-2 国際化計画において大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと (複数回答)

	【女性】							(複数回答)	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計	補正総数計	
大友宗麟公時代の南蛮貿易	3 5.6%	10 12.3%	7 7.4%	13 11.9%	22 23.4%	21 40.4%	76 15.7%	101 16.8%	
新産業都市と世界トップレベルの産業集積	3 5.6%	10 12.3%	8 8.4%	24 22.0%	24 25.5%	11 21.2%	80 16.5%	95 15.8%	
海、山、川がある自然環境	36 66.7%	46 56.8%	65 68.4%	65 59.6%	56 59.6%	32 61.5%	300 61.9%	373 62.1%	
県都の役割	1 1.9%	7 8.6%	4 4.2%	6 5.5%	11 11.7%	9 17.3%	38 7.8%	49 8.2%	
FAZ・高速道路体系、国際化を支える社会基盤	2 3.7%	5 6.2%	12 12.6%	17 15.6%	21 22.3%	9 17.3%	66 13.6%	78 13.0%	
アジアに近い九州の中核市	13 24.1%	19 23.5%	30 31.6%	42 38.5%	30 31.9%	13 25.0%	147 30.3%	175 29.1%	
ビッグアイ、高崎山などの交流施設	17 31.5%	25 30.9%	24 25.3%	20 18.3%	21 22.3%	10 19.2%	117 24.1%	148 24.6%	
ワールドカップサッカー大会の開催経験	15 27.8%	27 33.3%	18 18.9%	15 13.8%	18 19.1%	7 13.5%	100 20.6%	126 21.1%	
国際提携都市や国際都市間の市民交流	21 38.9%	25 30.9%	30 31.6%	44 40.4%	48 51.1%	25 48.1%	193 39.8%	241 40.1%	
増加する留学生をはじめとする外国籍市民	14 25.9%	19 23.5%	15 15.8%	19 17.4%	11 11.7%	11 21.2%	89 18.4%	115 19.2%	
その他	1 1.9%	4 4.9%	4 4.2%	0 0.0%	2 2.1%	0 0.0%	11 2.3%	13 2.2%	
回答者数	54	81	95	109	94	52	485	600	

※補正総数計＝全ての世代で、各100人ずつ回答したとして補正した数値と割合

図4-1 国際化計画において大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと（複数回答）



**大分市国際化推進計画策定に係る
市 民 意 識 調 査**

個人アンケート

その他・自由意見

問7 その他の意見（外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと）

文化の再認識、文化交流

- ・ まず我国をよく知る事
- ・ 日本人として自身を再度検証する事
- ・ 日本国民としての誇り
- ・ 日本をより知ってもらうこと
- ・ 文化交流
- ・ 文化、知識などの習得
- ・ 音楽等を通じた文化交流

行事、イベント等を通じて

- ・ サッカー交流
- ・ 盆踊り等に招いて一緒に踊る
- ・ 部活動

仕事、技術

- ・ ビジネス
- ・ 仕事の上での交流
- ・ 技術の指導

道徳、誠実さ

- ・ 道徳（モラロジー）
- ・ 誠実さ、友情

その他

- ・ 道路、土地開発と整備
- ・ 多国主義、内政不干涉、異文化尊重、アジア中心に、ノー・ハケン主義
- ・ 民族音楽
- ・ 笑顔
- ・ 民主主義にすること
- ・ 共通の目標（武道・東洋哲学等）があること、和食の良さ、宇宙から物を見る視点

問8 その他の意見（外国人との交流や国際交流の経験がない・参加したくない・どちらでもないと答えた主な理由）

語学力がない、言葉が通じない 25

- ・ 言葉の問題
- ・ 現在長期療養中のため語学力がない
- ・ 言葉がわからない
- ・ 言葉が通じない
- ・ 語学力がない
- ・ 外国語が分からない
- ・ 言葉（英語）に自信がないので
- ・ 言葉が通じないので不安
- ・ 外国語でコミュニケーションをとりたいと思うが語学力が無いのでとまどう
- ・ 会話に問題がある、話せない
- ・ 語学力の不足
- ・ 言葉の問題
- ・ 外国語オンチ
- ・ 言語障壁による困難さ
- ・ 言葉がわからないから
- ・ 外国語が苦手
- ・ 外国語を知らない
- ・ 言葉に困る
- ・ 言葉が通じない
- ・ コミュニケーションがとれない（言葉の障害）
- ・ 言葉
- ・ 言葉が通じなく、気持ちが理解出来にくいと思われる
- ・ 語学力がない
- ・ 言葉が心配
- ・ 言葉が通じないから

高齢である、体調がすぐれない 15

- ・ 年齢的に参加は無理
- ・ 年齢をとり過ぎた
- ・ 高齢のため
- ・ 年齢・健康上
- ・ 年齢的に不可
- ・ 年齢的に無理か？
- ・ 老人で耳が遠い
- ・ 高齢で病弱
- ・ 年齢的に余裕がない
- ・ 肉体的、精神的に参加は無理
- ・ 年齢的に若くないから
- ・ 若い時であればと思う
- ・ 不健康だから
- ・ 体調不良
- ・ 体調不良のため語学に自信なし

興味がなく、積極的ではない 8

- ・ 積極的になろうとは思えない

- ・ 気力がない
- ・ 言葉が分からない
- ・ 積極的な意志はない
- ・ 意識不足
- ・ 興味がない
- ・ 興味がない
- ・ 市としては必要と思うが私個人としては今更の感

外国人犯罪が怖い 5

- ・ テロが多い中恐さを感じる。中国、韓国等犯罪を感じる。
- ・ 外国人に対し少し抵抗がある。(犯罪等が増えているため)
- ・ 外国人による犯罪多発の現状では警戒感が大きい
- ・ 日本の治安を乱すことが多発しているから
- ・ 少しこわい (外国人犯罪の増加、治安悪化)

その他 13

- ・ 家庭的に無理
- ・ 社会人生活においてその様な環境になかった
- ・ 気遣いをする付き合いはもうしたくないから。
- ・ 退職後は機会と目的が遠ざかる
- ・ 外国の範囲対象が不明のため
- ・ 国際交流も良いがその前に市民が「ふるさと」を大事に思える様になる事が大事
- ・ 金銭的余裕がない
- ・ 外国人と交流会に参加した時いやな思いをしたので以後あまり参加しなくないと思っている。
- ・ 不安を感じるから
- ・ 勉強不足
- ・ 人との交流が苦手
- ・ 今の生活でいっぱい
- ・ 人間の理解不足

問9 大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域

- ・ 地中海諸国
- ・ 北欧
- ・ カザフスタン、キルギス等
- ・ 温泉で有名な所
- ・ 市長の方針次第

問10 その他（国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと）

国際交流に対する環境作り	10
<ul style="list-style-type: none">・ 標準語を大分で普及させるべき・ 日本（豊の国）の文化、伝統歴史を日本人（大分の人）が学習する動機づけの促進・ 国際交流の必要性、意味、重要性を理解してもらう方法、環境づくり、場が必要・ 市民意識の向上・ 時に応じての窓口・ 大分県人の意識を変える対策・ 子供と老人が夢を持って明るく生き生きと積極的に生きれる市を作ること（そうすれば外国からこれからの高齢化社会の模範として学びに来る）・ 外国語がだめな人でも近付けて理解できるようにしてほしい（親近感がほしい）・ 国とは何か、今世界はどうなっているかの情報発信・提供・ 国際交流の目的をはっきりさせ、相手にとって大分市が魅力ある都市になること、又は条件を整えること	
国際交流の場の拡大	5
<ul style="list-style-type: none">・ 外国人同士のサークル・ ホームページなどで世界に向けて発信できる、又友人を作れるチャンスを持つこと。・ 子連れでも参加できるような遊びの会のような交流会を開くこと（コンパルなどを利用しては？）・ 市報で外国での生活経験のある方に大分在住の外国人の紹介等。・ 自然な文化交流等	
留学生の受入態勢拡大	3
<ul style="list-style-type: none">・ 海外留学生を増やす・ 市営住宅などへの留学生枠設置による留学生の生活支援・ 外国人の為の無料の建物（住居は含まない）	
日本の学校教育	3
<ul style="list-style-type: none">・ 高校、大学生に助成して留学させる。・ 小・中学生達にもっと交流の場や留学経験の場を増やしてほしい。・ 学校での英語教育が生活の場で使えるよう指導して欲しい。	
受入態勢の強化・研究	3
<ul style="list-style-type: none">・ 防犯強化・ 留学生受入れで人物調査（審査）の厳格化・ 外国人の雇用とそれにおける利害に対する研究	
国際交流はしたくない	3
<ul style="list-style-type: none">・ 外国人の犯罪が多発しているので望まない。大分市として交流は進んでするべきではない。・ 外国人犯罪の多くなった今、外国人は日本に入れたくない。・ 箱モノはいらない	
分からない	4

その他	7
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市報に分かり易くページを作る。 ・ 地理的に近い韓国にターゲットを絞る ・ その国の国情を理解し協力する。 ・ ラグビーW杯(2011年)開催地に立候補して欲しい ・ 日本人がもっと心を開くこと ・ 市政国際案に民間人投入 ・ 公費で海外に行かないこと 	

**問12 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりをする上で
必要と思われること**

治安維持	10
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍市民の犯罪防止、意識の向上 ・ 治安に対する不安解消 ・ 治安の維持 ・ 悪質な犯罪は外国人に多く、厳しい指導が必要 ・ 安全な町づくり ・ 犯罪に対する不安を排すこと ・ 外国人犯罪の減少 ・ 不法滞在者の摘発 ・ 治安の充実 ・ 治安の維持 	

日本人（大分市民）の意識向上	7
<ul style="list-style-type: none"> ・ うまくいっている街や団体などを紹介して市民の受け入れるモデルを示すこと。 ・ 日本古来の良き習慣を見直すこと ・ 偏見ではなく、どちらかといえば「外国人だからまあ仕方ない」という考えを日本人がなくす事 ・ 外国人と接する機会を増やす事 ・ 市民意識の向上 ・ 大分市民が暮らしやすい街づくり（外国人にも住みやすい街になる） ・ 日本人が自身の生活をきちんとすること 	

住みやすい環境づくり	6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語習得の為外国人対象の日本語コースを地域で開催する。 ・ 住宅の確保 ・ 外国人街を造る ・ 外国語によるインフォメーション掲示板の多用 ・ 集会所 コミュニティーの提供 ・ 住居の提供などによる援助、特区化の早期実現と全ての市民にとって住みよい街づくり 	

日本の生活ルールや法律を伝えること	3
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他国に来ては他国のルールを守る事を良く知って欲しい ・ 日本の生活ルールの教育 ・ ルールの必要をアピールすること（市報などに情報をのせる） 	

雇用問題の改善	2
・ 雇用の平等性	
・ サービス業等都合の良い労働力として移入しないこと	
分からない・考えたことがない	4
その他	7
・ 相互理解、特に素行	
・ 国政は無理でも市町村選挙ぐらいの参政権が必要	
・ 大分に馴染むように外国人が努力すべき	
・ 普通にすることが一番	
・ 足元から途々に根強く国際化して欲しい	
・ 日本語教育の徹底	
・ 交流したくない	

問 1 3 外国籍市民に望むことや期待すること

犯罪を起こさないこと	14
<ul style="list-style-type: none">・ 外国人留学生の犯罪の防止・ 犯罪者にならないこと・ 日本国内で犯罪を起こさない事を望む。期待することは何もない。・ 犯罪をしないこと・ 犯罪を犯さない事。日本国の法律を理解してもらう事・ 犯罪を犯さないで欲しい・ 犯罪を起こさないこと・ 日本で犯罪を犯さない事・ 犯罪を犯さないこと・ 凶悪な犯罪を起こさないこと・ 犯罪を犯さないこと・ 治安維持の徹底・ 不法滞在、就労、凶悪犯罪をなくして欲しい・ 犯罪に関与しないこと	
積極的交流	8
<ul style="list-style-type: none">・ 地域の仕事への参加・ 外国の事を教えて欲しい（生の声）・ 地域の特性をよく理解する事・ 自国の文化を紹介し交流すること・ 溶け込む努力・ 家族、友人を多く大分に招いて欲しい・ 大分に馴染むように努力すべき・ 料理を習う	
特になし・分からない	4
ルールを守る・その他	6
<ul style="list-style-type: none">・ 日本人への多様な価値観の導入又は悪い意味での日本人性への打破・ 最低限の日常会話は必携・ 日本の法律を厳守すること・ 悪い影響を持ち込まない・ 大分に住む為の大分県の規約を守ること・ 日本人にも多様な人間がいる事の理解	

問 1 4 国際化計画をつくる際に、大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと

- ・ 一村一品の理解
- ・ 国際化計画とは何か？
- ・ 交流によって相互に進化してきたので互いに敬意を持つこと
- ・ 金をかけずキバラず自然体で。
- ・ 武器を持たない事
- ・ 現住民の生活の活力、日常生活のあり方
- ・ 外国籍市民にも分かりやすい表示（道路標識など）
- ・ 大学
- ・ “東アジアの人達を限定とした高度な試験で得られる日本国籍の取得で、他県に先じて大分市が日本国籍取得のトップをはしること”
- ・ 特別、大分市発信のテーマはない
- ・ 青少年へ国籍など関係なく理解しあえる人間教育
- ・ “国際化計画以前に都市としての機能を充実させるよう努力してほしい。
- ・ 全ての市民にとって住みよい街づくりをしてほしい。”
- ・ 交流のきっかけとなるイベント等を増やす事
- ・ 温泉、特産品、テニスコート代が安い事
- ・ 温泉がある。温泉地に近い
- ・ 公共交通網の増加
- ・ 国際観光都市別府（客船の寄港地として海路の面から宣伝。）
- ・ 日本の平均的な中規模都市が持つ無個性さ。
- ・ 世界で最も安全で住み良い条件を持つ都市にすること
- ・ 市政国際案に民間人投入
- ・ 留学生相談センター等の設置
- ・ 温泉
- ・ 大分の歴史
- ・ 歴史（街のなりたち）、食文化
- ・ 危機管理体制の強化
- ・ ホームステイ活動体験や文化施設・運動施設を利用した交流活動の推進
- ・ 温泉
- ・ 分からない（2名）